

平成28年5月宇佐市高校生議会

会 議 録

平成28年5月20日 開会

平成28年5月20日 閉会

宇 佐 市
宇 佐 市 議 会

目 次

議長あいさつ	3
市長あいさつ	3
議席の指定	5
会議録署名議員の指名	5
会期の決定	5
市政一般に対する質問	
○安心院高等学校	9
○柳ヶ浦高等学校	18
○宇佐高等学校	24
○宇佐産業科学高等学校	34
副市長あいさつ	41

平成28年5月宇佐市高校生議会

会 議 録

平成28年5月宇佐市高校生議会定例会 会議録

○平成28年5月20日（金曜日）午後1時40分 開会

○議長 宇佐市議会議長 中島孝行

○出席した高校生議員（17人）

安心院高等学校

1番 谷口結愛 2番 高月麻友 3番 西凌人

柳ヶ浦高等学校

4番 大塚直恕 5番 川口貴之 6番 落合楓

7番 山下瑞稀

宇佐高等学校

8番 日浦拓海 9番 久保優子 10番 相良美月

11番 折口里沙 12番 湯口諒万 13番 金田季子

宇佐産業科学高等学校

14番 井ノ口羽蘭 15番 早田美希 16番 松久凱哉

17番 小野裕稀

○説明のため議場に参加した者

市長 是永修治 副市長 信國和徳

教育長 近藤一誠 会計管理者 後藤敏昭

総務部長 永野直行 消防長 奥秀則

市民生活部長

（兼市民課長）

田口憲明

福祉保健部長

（兼福祉事務所長兼介護保
険等認定審査会事務局長）

土居秀徳

経済部長

（兼耕地課長）

山本恵太

建設水道部長

（兼都市計画課長）

原田雅且

教育次長 (兼教育総務課長)	高月晴彦	安心院支所長 (兼地域振興課長)	前田和弘
院内支所長 (兼地域振興課長)	安部真知子	総務課長	久保桂一
企画財政課長	江口弘和	農政課長	岸田雅彦
観光まちづくり課長	河野洋一	学校教育課長	川島数志
安心院支所産業建設課長	大坪一郎	上下水道課長	野村庄司
生活環境課長	江口誠治	健康課長	祥雲弘一
商工振興課長	城隆弘	秘書広報課長	若山雅敏
福祉課長	松吉剛		
危機管理課主幹(総括) 交通防犯係担当	樋田慶治	危機管理課主幹(総括) 防災係担当	本浪亮

○職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

事務局長	川野慎三
主幹(総括) 議事係担当	尾方勇司
書記	山香洋介・弓場健悟

○議事日程

- 日程第1 議席の指定
- 日程第2 会議録署名議員の指名
- 日程第3 会期の決定
- 日程第4 市政一般に対する質問

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

○会議の経過

開議 午後1時40分

～ 議長あいさつ ～

○議長（中島孝行君）皆さん、こんにちは。宇佐市議会議長の中島でございます。

宇佐市高校生議会の開会にあたりまして、議会を代表して、一言ごあいさつ申し上げます。

本日は、何かとお忙しい中、市内各高校から17名の高校生議員にご出席をいただきました。各高校の皆様方のご協力に、心より感謝申し上げます。また、お忙しい中、傍聴にお越しいただきました皆様に厚くお礼を申し上げます。

さて、この高校生議会は、先の公職選挙法の改正に伴い、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、今年7月の参議院議員選挙から適用されることに起因し、宇佐市の次代を担う高校生の皆様方の政治や社会への参加意識の更なる向上を企図し、まず、身近な市政や市議会への理解と関心を高めていただく観点から、宇佐市と宇佐市議会の主催で開催するものであります。

高校生議員の皆様には、日常生活において市政に対して感じたことを、高校生らしく、若さと熱気あふれる質問や提言を堂々と述べていただくことを期待するとともに、本日の経験が皆様方の将来、そして、宇佐市の将来にとって有意義なものになることを祈念申し上げる次第でございます。本日ご出席の皆様には、閉会まで議事進行にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

甚だ簡単ではございますが、議会を代表してのあいさつとさせていただきます。

○議長（中島孝行君）ただ今、出席議員は17名です。

これより、本日をもって招集されました平成28年5月宇佐市高校生議会を開会いたします。

ここで、市長のごあいさつをお願いいたします。宇佐市長 是永 修治 君。

～ 市長あいさつ ～

○宇佐市長（是永修治君）皆さん、こんにちは。市長の是永修治でございます。

宇佐市高校生議会の開会にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

本日は、市内4校から17名の高校生議員に出席をいただき、初めての高校生議会が厳粛に開催されますことを大変嬉しく思っております。市議会議長をはじめ、議会の皆様方、そして、各高校の関係者の皆様方のご協力に対し、心より感謝申し上げます。

さて、本議会は、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことに伴い、まず、身近な市政や市議会に理解と関心を高めてもらおうという趣旨で開催されるものであります。

皆さん方からいただいた一般質問を拝見いたしますと、人口減少社会に伴う諸問題、グローバル化や情報化への対応など高校生ならではの視点・感性にあふれた内容となっており、大変頼もしく思っております。質問にあたっては、緊張するとは思いますが、これからの宇佐市の未来を担っていくんだという心意気のもとに、高校生議員としての職責を全うしてもらいたいと思います。

市執行側といたしましても、本議会と同様に、真摯に臨みたいと考えております。高校生議員の皆さん方と活発で建設的な議論ができますことを期待いたしまして、開会にあたってのごあいさつとさせていただきます。

どうぞ、よろしくお願いをいたします。

○議長（中島孝行君）これより本日の会議を開きます。

議事日程は、お手元に印刷配付の議事日程表のとおりであります。

平成28年5月宇佐市高校生議会 議事日程

日時：平成28年5月20日（金曜日）午後1時40分 開議

場所：宇佐市議会議事堂「本会議場」

○市議会議長あいさつ

○市長あいさつ

日程第1 議席の指定

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 会期の決定

日程第4 一般質問

①安心院高等学校

②柳ヶ浦高等学校

③宇佐高等学校

④宇佐産業科学高等学校

○副市長あいさつ

～ 日程第1 議席の指定 ～

- 議長（中島孝行君）日程第1、議席の指定を行ないます。
議席は、ただいま、ご着席の議席といたします。

～ 日程第2 会議録署名議員の指名 ～

- 議長（中島孝行君）日程第2、会議録署名議員の指名を行ないます。
会議録署名議員は、議長において、安心院高校 1番 谷口結愛さん。
柳ヶ浦高校 7番 山下瑞稀さん。宇佐高校 13番 金田季子さん。
宇佐産業科学高校 17番 小野裕稀君 を指名いたします。

～ 日程第3 会期の決定 ～

- 議長（中島孝行君）日程第3、会期の決定を議題と致します。
お諮りいたします。
今議会の会期は、本日1日といたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。
（「異議なし」と呼ぶ者あり）
○議長（中島孝行君）ご異議なしと認めます。
よって会期は本日1日と決定いたしました。

～ 日程第4 一般質問 ～

- 議長（中島孝行君）日程第4、市政一般に対する質問を議題といたします。
通告がありますので、順次発言を許します。

市政一般に対する質問一覧表（平成28年5月20日）

発言者	発言の要旨	答弁を求める者
<p>安心院高校</p> <p>1番 谷口 結愛</p> <p>2番 高月 麻友</p> <p>3番 西 凌人</p>	<p>1. 安心院町のPRについて</p> <p>(1) 宇佐市では安心院の魅力についてどのようなPRをしているのか。</p> <p>(2) PR以外で安心院を活性化させるためのプランはどのような事を考えているのか。</p> <p>2. グリーンツーリズムについて</p> <p>(1) 安心院地域の国際化、観光客誘致の一環として、外国人を積極的に受け入れる予定はあるのか。</p> <p>(2) 平成23年度の子ども議会で、市はグリーンツーリズムの受け入れ先へ研究会が語学講座を行っているが、5年前と比べて具体的にどのような成果が上がっているのか。</p> <p>(3) 外国人の利用数の推移はどれくらいなのか。</p> <p>(4) 外国人向けの様々な案内表示やパンフレットなどの作成をしているか。</p> <p>3. 交通について</p> <p>(1) 安心院・院内地域におけるバスの利用者数とバスの便の数ほどのくらいか。</p> <p>(2) バスの便数は適当だと考えているか。</p> <p>(3) 安心院と隣接する別府市や由布市へ行けるバスの運行状況を把握しているか。また、観光客誘致の手段として考えているか。</p> <p>4. 市のホームページについて</p> <p>(1) 宇佐市のHPは誰にでも分かりやすいものとなっているのか。また、改善する予定はあるか。</p> <p>(2) より良いHPを作るための研究や工夫、より多くの市民がHPを見やすくするための工夫をしているか。</p> <p>5. 合併処理浄化槽設置設備費補助金制度について</p> <p>(1) 制度実施以降の宇佐市全体の設置率の推移はどうか。</p> <p>(2) 旧宇佐市内と安心院・院内地域の設置率の推移はどうか。</p>	<p>市長及び 担当部課長</p> <p>市長及び 担当部課長</p> <p>市長及び 担当部課長</p> <p>市長及び 担当部課長</p> <p>市長及び 担当部課長</p> <p>市長及び 担当部課長</p>
<p>柳ヶ浦高校</p> <p>4番 大塚 直恕</p> <p>5番 川口 貴之</p> <p>6番 落合 楓</p>	<p>1. 宇佐・高田・国東広域クリーンセンターの建設について</p> <p>(1) 施設の完成予定が平成30年度中とある。今後の建設工事計画と周辺整備について教えて頂きたい。</p> <p>(2) 完成施設の稼働後、近隣の環境汚染と森林生態系への影響をどのように予測しているか。</p> <p>2. 市内のまちづくりについて</p> <p>(1) 若者が賑わう商業施設が市内には乏しいと思われる。今後、大型商業施設の誘致予定があるか。</p> <p>(2) JR柳ヶ浦駅周辺の都市開発について、今後の整備計画を教えて頂きたい。</p>	<p>市長及び 担当部課長</p> <p>市長及び 担当部課長</p>

	<p>もっと宇佐神宮の魅力をPRすべきでないのか。</p> <p>4. スマホ世代をターゲットにした情報発信について</p> <p>(1) SNSやインターネット動画で宇佐市の情報を発信しているが、私たち高校生が興味を持てる市内の最新情報をもっと増やせば宇佐市も盛り上がるのではないのか。</p> <p>(2) 今後大きな地震がおきた時に、Twitterでのハッシュタグを使った被害状況報告はしないのか。</p>	<p>市長及び 担当部課長</p>
<p>宇佐産業科学 高校</p> <p>14番 井ノ口羽蘭</p> <p>15番 早田 美希</p> <p>16番 松久 凱哉</p> <p>17番 小野 裕稀</p>	<p>1. 交通整備・環境整備について</p> <p>(1) 法鏡寺から四日市に行く道が狭く、小・中学生などの通学に危険が及んでいると思われます。現状をどのように把握されていますか。また、今後の整備計画について教えてください。</p> <p>(2) JR駅周辺の商店が少ない、整備が遅れていたり、バスの本数が少なかったりと不便なことが多く、それが観光客の減少や地元で生活したいと考える人の減少につながっているのではないかと思います。そういった環境の整備についてどう考えていますか。</p> <p>2. 人口減少について</p> <p>(1) 最近の宇佐市の人口構成を考えると、高齢者が増え子どもが減ってきています。ある調査で、「2016年版住みたい田舎ベストランキング」の全国第3位に宇佐市が選ばれたと聞きましたが、実際、県外から田舎暮らしを求めて移住してきた人はどれくらいいますか。また、その世代や家族構成について教えてください。</p> <p>(2) このランキング結果を活用して、宇佐市の人口増加・活性化に繋げていく計画がありますか。</p> <p>3. 観光客の誘致について</p> <p>(1) 宇佐市に来る観光客数の推移はどのようになっていますか。また、最近、インバウンドで外国人も時々見かけるようになりましたが、観光客の誘致についてどのような取り組みをしているのかを教えてください。</p> <p>(2) 私たちが思い浮かぶ観光名所は、宇佐神宮や院内町の石橋群、安心院町のぶどう狩りなどですが、他にどのような場所がありますか。また、その中に若者が是非訪れてみたいと思うような場所がありますか。</p> <p>4. 給食を食べるのは小、中学校の子どもたちですが、好き嫌いなく食べてもらうのが一番だと思います。子どもたちに好き嫌いなく食べてもらえるためにどのような工夫をしていますか。</p> <p>5. 少子高齢化が進む中、災害時に高齢者も自力で避難しなければならない状況が考えられますが、それについて災害対策はどうなっているか教えてください。</p>	<p>市長及び 担当部課長</p> <p>市長及び 担当部課長</p> <p>市長及び 担当部課長</p> <p>市長及び 担当部課長</p>

【 安心院高等学校 】

○議長（中島孝行君）まず、安心院高校。代表3名の方、ご登壇のうえ、ご質問ください。

○1番（谷口結愛さん）安心院高校代表 1番 谷口結愛です。

第1回目の質問を行います。

私たちの住む安心院町は、自然が豊かでいい所がたくさんあり、とても住みやすい街です。ブドウやワイン、すっぽんが有名で、また、日本の滝百選にも選ばれた東椎屋の滝もあります。地域の方々もとても温かく私たちを見守ってくれ、私は、もっと若い人に来てもらって、安心院の良さを知り、安心院が活性化して欲しいと思っています。

しかし、現在は安心院の人口が減り、安心院高校も年々生徒数が減っています。もし、このまま安心院高校が無くなるようなことがあれば、安心院町の過疎化は決定的なものになると思います。

規模は小さくなりましたが、安心院高校は、とても活気のある学校です。小中高一貫教育を行っており、就職から進学まですべての生徒に対応できるコース制がある、全国からも注目を浴びている学校です。たくさんの地域の人やOBが、安心院高校の存続のために積極的に活動しています。安心院高校の存続のためにも、観光客誘致だけでなく住みたいと思ってもらえるまちづくりをして、若い人にも興味を持ってほしいと思っています。

そこで質問に入ります。

第1項目め、「安心院町のPRについて」です。

1点目、宇佐市では、安心院の魅力についてどのようなPRをしていますか。

2点目、PR以外で安心院を活性化させるためのプランは、どのようなことを考えていますか。

2項目めは、「グリーンツーリズムについて」です。安心院では安心院の豊かな自然を生かし、グリーンツーリズムという活動が行われています。全国各地から多くの修学旅行生が来てくれ、大変賑わっています。たくさんの方が来てくれるのはとてもうれしいことですが、私としては、もっと多くの人に知ってもらい、海外の方にも来てもらいたいです。

そこで質問に入ります。

1点目、安心院地域の国際化、観光客誘致の一環として外国の方を積極的に受け入れる予定はありますか。

2点目、平成23年度の子ども議会の答弁で、市はグリーンツーリズムの受け入れ先へ研究会が語学講座を行っている」と答弁していますが、5年前と比べて具体的にどのような成果が上がっていますか。

3点目、外国人の利用数の推移はどれくらいですか。

4点目、外国人向けの様々な案内表示やパンフレットなどの作成はしていますか。

以上で、第1回目の質問を終わります。

○2番（高月麻友さん）安心院高校代表 2番 高月麻友です。

第1回目の質問を行います。

3項目めは、「交通について」です。現在、安心院地域にはお年寄りが多く生活しています。安心院には大きな病院が無いため、宇佐市まで通院しなければならないことが多いとよく聞きます。交通の便が悪いお年寄りの方々は、宇佐市のバスを使って通院する方が多いと思いますが、バス

の便が少ないと行きたい時に行けなくて困っているお年寄りもいるのではないのでしょうか。

そこで質問があります。

1つ目は、安心院・院内地域におけるバスの利用者数とバスの便数はどれくらいでしょうか。

2つ目は、その便数は適当だと考えていますか。

大分県には、たくさんの観光客が訪れます。別府市や由布市には、毎年、数百万人の人が訪れていますが、すぐ隣の市まで来ている、これらの観光客を安心院に誘致できれば、安心院はもとより、宇佐市全体の活性化につながるのではないのでしょうか。遠くから来る観光客が安心院に来るには、ツアーのバスや自家用車が必要です。公共のバスを利用すれば、交通の手段が広がり、観光客の誘致につながると考えます。別府市や由布市と安心院をつなぐバスの便が増えれば、安心院自体を観光してもらうチャンスになるのではないのでしょうか。

そこで、3つ目の質問です。安心院と隣接する別府市や由布市へ行けるバスの運行状況を把握していますか。また、バスを観光客誘致の手段と考えていますか。

以上で、第1回目の質問を終わります。

○3番（西 凌人君）安心院高校代表 3番 西 凌人です。

第1回目の質問を行います。

4項目目、「市のホームページについて」です。

高校生議会の質問を考えるために、宇佐市のホームページを閲覧しました。その時にコミュニティバスの路線図を調べた際、学校のパソコンの大きな画面で見ても、使われている画像が不鮮明でとても分かりづらく感じました。また、ホームページ自体がスマートフォンに非対応ということもあり、大分県内の11の市のホームページを調べてみると、6つの市ではスマートフォンに対応しているということが分かりました。ほかにも市が行っている事業がまとめられているページも発見しましたが、有益な情報が載っているページではありますが、そのページにたどり着くまでが大変でした。そこで質問です。

1点目は、宇佐市のホームページは、誰にでも分かりやすいものとなっているのでしょうか。また、分かりづらと思われる点は改善する予定はあるのでしょうか。

2点目は、より良いホームページを作るための研究や工夫は行われているのでしょうか。また、より多くの市民がホームページを見やすくするための工夫なども行っているのでしょうか。

5項目目、合併処理浄化槽設置設備費補助金制度についてです。

1点目は、宇佐市が行っている事業をホームページで拝見しましたところ、合併処理浄化槽設置設備費補助金制度の実施をされています。合併処理浄化槽の設置の敷居を下げて、宇佐市内の環境保全を推進する、とてもいい制度だと思いますが、制度実施以降の宇佐市全体での設置率の推移はどのようなのでしょうか。

2点目は、先ほどは宇佐市全体での推移について質問しましたが、旧宇佐市内での推移と安心院・院内地域の設置率の推移はどうでしょうか。

以上で、安心院高校の第1回目の質問を終わります。

○議長（中島孝行君）それでは、安心院高校の高校生議員の一般質問に対する執行部の答弁を求めます。まず、宇佐市長 是永 修治 君。

○市長（是永修治君）市長の是永でございます。

1番 谷口議員の一般質問にお答えをいたします。

1 項目め、「安心院町のPRについて」の1点目、「安心院の魅力についてどのようなPRをしているのか」についてであります。安心院には、現存数日本一といわれる「鰻絵」や、昨年、全国動物園&水族館人気ランキングで第3位に選ばれた「九州自然動物公園アフリカンサファリ」、ワイナリーなどがある「家族旅行村安心院エリア」などの観光施設のほか、「安心院フェア葡萄酒祭り」などのイベントや「スッポン料理」といったグルメなど、数多くの観光資源があります。また、「グリーンツーリズム」も日本発祥の地となっており、中高生の教育旅行や視察研修をはじめ、国内外から多くの農村民泊を受け入れております。

このような安心院観光の魅力については、テレビ、新聞・雑誌等への掲載、市HP、インターネット放送局、Facebookなどの活用のほか、国内外での観光誘客活動など、あらゆる方法でPRを行っているところです。

2点目、「安心院を活性化させるためにどのようなことを考えているのか」についてですが、第一に、小学校区ごとに設立された「地域コミュニティ協議会」の取り組みであります。安心院地域では、佐田、深見、津房、安心院の4地区のまちづくり協議会が、それぞれの地域の実情に応じた課題解決、活性化の取り組みを行っております。市は、これらの協議会と協働協定書を締結し、地域おこし協力隊等の人的支援、運営交付金等の財政支援などを行いながら、住民主体の協働のまちづくりを推進しております。

第二に、支所機能と中央公民館機能を併せ持つ「安心院地域複合支所」の建設です。両施設ともに築40年以上が経過し、老朽化と耐震の脆弱性、バリアフリー化への対応などが課題となっていたことから、市産材を活用して建て替えるものであります。現在の中央公民館がある位置に複合支所を建設し、現支所は取り壊した上で、バスなどのターミナルとして整備する予定であります。

第三に、「国営緊急農地再編整備事業」の取り組みです。安心院地域の特産品はブドウですが、栽培が始まってから半世紀以上が経過し、生産者の高齢化や後継者不足も合わせ、生産量の減少とともに耕作がされなくなった農地、耕作放棄地が増加をいたしております。このような課題を解決するため、昨年度から国営事業により農地の区画整理や用水路の改修などが行われています。これにより担い手の確保など地域農業の活性化が図られるものと期待をされています。

以上のような取り組みを通して、安心院地域を活性化させていきたいと考えております。

以上で、私からの答弁は終わりますが、その他の質問につきましては、担当部課長から答弁いたしますので、よろしくお願いいたします。

○議長（中島孝行君）次に、2項目めの「グリーンツーリズムについて」を、安心院支所長前田 和弘 君。

○安心院支所長（前田和弘君）皆さん、こんにちは。安心院支所長の前田です。1番 谷口議員の一般質問にお答えします。

2項目め、「グリーンツーリズムについて」の1点目「安心院地域の国際化、観光客誘致の一環として、外国人を積極的に受け入れる予定はあるのか」についてであります。受け入れ実績については、修学旅行に次いで多いのが、海外からの視察や研修を目的とした農泊者で年間1,600名が訪れています。特に昨年度につきましては、初めての試みとして、台湾の大手企業の社員旅行で700名を受け入れた実績があります。

今後、2019年のラグビーワールドカップ日本大会や2020年の東京オリンピック・パラ

リンピックの開催を控えており、いまこそ絶好のタイミングと捉え、旅行会社など観光事業者と連携し、地域の武器としてのグリーンツーリズムを活用して、外国人観光客誘致を積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

2点目「安心院町グリーンツーリズム研究会が受け入れ先へ行っている語学講座により、5年前と比べて具体的にどのような成果が上がっているのか」についてですが、当時、同研究会が、グリーンツーリズムの本場、ドイツのアッカレン村を中心に現地研修を行うことになり、ドイツで暮らしていた方を講師に迎え、ヨーロッパ研修に向けてドイツ語講座を開催し、言葉と文化を学んでいました。現在も農泊家庭の会員が定期的なヨーロッパ研修を実施しており、当時の語学講座に参加したことにより、簡単なドイツ語でのコミュニケーションを図ることができ、歴史・文化についても研修の中で活かされています。

3点目「外国人の利用数の推移は」についてですが、海外からの中・高校生の教育旅行者数は、平成25年度40名、平成26年度68名、平成27年度305名です。また、海外からの一般農泊者数は、平成25年度905名、平成26年度663名、平成27年度1,332名となっています。年々外国からの利用者が増加傾向にあり、国別では、主に韓国からの利用者で、台湾・タイ・オランダ・アフリカなどからも訪問されています。

4点目「外国人向けの様々な案内表示やパンフレットの作成」についてですが、主要観光地の観光案内看板については、日本語及び共通外国語の英語で作成しています。観光パンフレットについては、共通外国語の英語版、特に交流の多い韓国人向けのハングルと中国語で作成しています。

今後、市といたしましても、インバウンド対策の一環として、グリーンツーリズム受入家庭研修事業を実施し、韓国、中国、台湾の方々の受け入れに役立てていただくような語学講座を予定しています。さらには、農泊受入マニュアルの作成、最低限度のコミュニケーションを多言語で補助する会話補助ツール「指さし会話シート」の作成等を行っていきたいと考えています。

以上で、答弁を終わります。

○議長（中島孝行君）次に、3項目めの「交通について」と4項目めの「市のホームページについて」を、総務部長 永野 直行 君。

○総務部長（永野直行君）皆さん、こんにちは。総務部長の永野です。

2番 高月議員の一般質問にお答えします。

3項目め、「交通について」の1点目「安心院・院内地域におけるバスの利用者数とバスの便数」についてですが、市内の公共交通網は、主に民間路線バスと市が交通事業者に委託して運行する市コミュニティバスによって構成されています。

最も基本となる民間路線バスについては、10年前の新市合併以前からも利用者が減少傾向にあり、市が赤字補てんを行ってきたものの、路線の撤退が相次ぎ、現在、29路線で運行されています。コミュニティバスについては、路線バスが撤退した市内の公共交通空白地帯を中心に26路線32系統で運行し、1路線週2回、片道100円の利用料を基本として、年間延べ約3万人の方が通院や買い物に利用するなど地域の足として重要な役割を担っており、交通空白地帯が発生しないよう努めているところです。

安心院・院内地域の平成27年度実績では、路線バスは9路線で、各路線1日1往復から2往復運行され、利用者数は約3,800人、片道あたり利用者は約3人となっております。コミュ

ニティバスは16路線で、各路線週2日、1往復運行され、利用者数は約17,000人、片道あたり利用者は約2人となっています。

2点目「バスの便数は適当だと考えているか」についてですが、交通空白を解消するためのコミュニティバス路線の整備については、地域の代表から要望をいただき、民間バス路線との競合を見極めるとともに、適宜利用者や関係地域との協議を踏まえたうえで試験運行を行い、道路運送法で設置が定められた「宇佐市地域公共交通会議」において、交通事業者や運輸局等の各種許可機関に審議をいただいた上で、新規運行や変更、バスの便数等について決定をしています。

今後も地域の声を伺うとともに利用者数等を考慮しながら、生活交通の確保及び利便性向上を目指した総合交通施策を推進してまいりたいと考えています。

3点目「安心院と隣接する別府市や由布市へ行けるバスの運行状況を把握しているか、また、観光客誘致の手段として考えているか」についてですが、市コミュニティバスである安心院亀川線と民間路線バスである安心院仙人田茶屋線の2路線が安心院と別府間で運行されています。

次に「観光客誘致手段としてのバス運行」については、鉄道や路線バスなどの地域公共交通の活性化・再生を総合的かつ一体的に推進するための「宇佐市地域公共交通総合連携計画」において、駅を起点とした市内観光拠点への周遊・利便性向上について取り組むこととしています。また、現在、県や近隣市並びに運行事業者と幹線系統の路線の再編について、市内各路線との調整を含め協議を行っています。今後も関係機関と連携して交通網の整備を行ってまいります。

次に、3番 西議員の一般質問にお答えをいたします。

4項目め、「市のホームページについて」の1点目「宇佐市のホームページは誰にでも分かりやすいものとなっているのか、また、改善する予定はあるのか」についてですが、宇佐市公式ホームページは平成24年にリニューアルを行い、年間100万アクセスを目指して現在運用を行っています。コンテンツ作成にあたっては、大人から子どもまで利用してもらえよう、文章表現やレイアウトなど全体的な統一感を持たせるよう努めています。

リニューアル前と比べ、アクセス数も年々増加し、昨年度の実績は85万アクセスと目標まであと一歩となっています。既存コンテンツのチェックなどは随時行っており、今年7月末までにはスマートフォン用の表示にも対応させる予定です。今後、先進的なホームページなども参考にしながら、より多くの方に利用していただけるよう、サイト内デザイン等の改善についても検討を行ってまいります。

2点目「より良いホームページを作るための研究や工夫、より多くの市民がホームページを見やすくするための工夫をしているか」についてですが、ウェブアクセシビリティのさらなる向上など、市公式サイトのグレードアップを図るため、庁内にホームページ向上委員会を設置し既存コンテンツの検証などを行っています。

また、より多くの利用者に興味をもっていただくため、ホームページを基本にFacebook・LINE・TwitterなどのSNSや動画配信サイトを活用したインターネット放送局、広報紙などを相互にリンクさせ、それぞれの広報媒体でお知らせしています。これらの情報の詳しい内容は、ホームページで確認することができるよう庁内の体制づくりに取り組んでいるところであります。

以上で、答弁を終わります。

○議長（中島孝行君）最後に、5項目めの「合併処理浄化槽設置設備費補助金制度について」を、

建設水道部長 原田 雅且 君。

○建設水道部長（原田雅且君）皆さん、こんにちは。建設水道部長の原田と申します。

3番 西議員の一般質問にお答えします。

5項目め、「合併処理浄化槽設置設備費補助金制度について」の1点目「制度実施以降の宇佐市全体の設置率の推移はどうか」についてですが、宇佐市生活排水処理施設整備構想では、処理施設を建設し、区域内の生活排水をまとめて処理をする下水道整備区域と、各家庭で生活排水を処理する浄化槽整備区域とに分けています。

現在の下水道整備区域は、四日市・駅川地区、安心院地区、下城井地区、矢部地区、深見地区、山城地区及び御沓地区の7処理区となっています。これらの7処理区以外では、汲み取り便槽や単独処理浄化槽からの切り換え及び新築の際に合併処理浄化槽を新設される個人に補助金を交付しています。この補助金制度により、平成2年度から平成27年度までに4,044基、浄化槽整備区域内約14,300戸の28.3%に合併処理浄化槽が設置されています。

2点目「旧宇佐市内と安心院・院内地域の設置率の推移はどうか」についてですが、平成27年度末合計4,044基の内訳は、旧宇佐市3,100基、安心院・院内地域944基となっています。旧宇佐市の浄化槽整備区域約12,000戸の25.8%、安心院・院内地域の浄化槽整備区域約2,300戸の41.0%に合併処理浄化槽が設置されています。

以上で、答弁を終了いたします。

○議長（中島孝行君）以上で、執行部の答弁は終わりましたが、再質問があれば許します。

1番 谷口結愛さん。

○1番（谷口結愛さん）1番 谷口結愛です。

2項目め、「グリーンツーリズムについて」、2点目について再質問します。

グリーンツーリズムの本場、ドイツのアッカレン村への研修に向けて、ドイツ語講座を学んだということは分かるのですが、現在の外国からの訪問者は主に韓国からの方が多いとのことでした。そこで、ドイツ語以外の言語講座は行われているのでしょうか。利用者の多い韓国語、または英語を学ぶ方が実用的だと思うのですが、そのような計画はないのでしょうか。

○議長（中島孝行君）安心院支所産業建設課長。

○安心院支所産業建設課長（大坪一郎君）安心院支所産業建設課長の坪です。

1番 谷口議員の再質問にお答えします。

海外からの農泊者で訪問客が多いのは、約8割方が韓国の方であります。説明でもありましたように、研修につきましては、従来、グリーンツーリズム研究会というのがありまして、その会員の方がグリーンツーリズムの本場のドイツの方に行かれるということで研修を行っていました。

議員ご指摘のように、共通外国語の英語のほうが機能的ではないかということでございますが、今回、国の補助事業の認可を受けてですね、安心院グリーンツーリズムとか、国東のツーリズムとか、大分県をまとめるツーリズム大分というのがあります。そこが主体となって、大分県全体で足並みを揃えて、外国人の方、海外の方を誘致するという内容の予定を今年度立てております。

海外の方がこちらに来て伝達の観点で困難にならないような対策を今後もとっていきたいと考えております。

以上です。

○議長（中島孝行君）ほかによろしいですか。どうぞ、ご遠慮なく。まだ時間が13分ありますから。

2番 高月麻友さん。

○2番（高月麻友さん）2番 高月麻友です。

3項目めの3点目について再質問します。安心院と別府市をつなぐバスは2路線あるということですが、由布市、安心院をつなぐバスは運行されているのでしょうか。

○議長（中島孝行君）企画財政課長。

○企画財政課長（江口弘和君）企画財政課長の江口でございます。

2番 高月議員の再質問にお答えいたします。

湯布院線のバスにつきましては、以前から検討をしているんですが、なかなか需要がないという部分がありまして、いま、あったらいいなという議論はしているところなんですけど、まだまだ実用化していないという状況であります。

バス路線だけじゃなくて、色んな県外からの交流人口を図ろうということで、最近では交流人口拡大のためのツアー造成補助金というのを、要項を作りまして、本市に訪れる団体旅行を誘致して行こうということ。例えば、貸切バス1台15人以上来て食事を1回とって、観光地2か所行ったら補助金を出しましょうとか、観光地3か所以上訪れて宿泊をしたら、さらにまた補助金を出しましょうというふうに、逆にバスだけの支援じゃなくて、そういったツアー造成にかかる、県外から訪れていただいて支援していくという施策もいま取り組んでいるところであります。

○議長（中島孝行君）3番 西 凌人君。

○3番（西 凌人君）5項目めの1点目について、再質問します。

平成2年度から平成27年度までに約14,300戸のうち28.3%に設置がされてはいますが、この設置率で十分だと思いますか。また、残りの71.7%のうち単独処理槽などの設置もされていなくて、生活排水がそのまま川に流れているなどということはあるのでしょうか。

○議長（中島孝行君）上下水道課長。

○上下水道課長（野村庄司君）上下水道課長の野村でございます。

3番 西議員の再質問にお答えします。

合併処理浄化槽につきましては、あくまでも個人の申請であります。そこの方がうちの浄化槽が無いから付けようとして付ける方、新築だから付けようという方でしております。その分について国、県、市からの助成を付けて、市のほうが補助をしている状況であります。

市のほうから積極的に改造をしませんかということは、なかなか申せることではございませんので、その分については、皆さんの生活環境の意識の向上を持って進めていきたいと思っております。

当然、今の数字で満足しておるわけではございませんけど、あくまでも皆さんの出費が伴う分等がございますので、できる限り応援はしていきたいと思っております。

以上です。

○議長（中島孝行君）ほかに。

1番 谷口結愛さん。

○1番（谷口結愛さん）1番 谷口結愛です。

2項目め、「グリーンツーリズムについて」、4点目について再質問します。

外国人向けの様々な案内表示やパンフレットの作成として、主要観光地の観光案内看板を日本語及び英語で作成しているとおっしゃいましたが、主要観光地とは具体的にどういう所で、看板は何か所、どこに設置をしていますか。

○議長（中島孝行君）観光まちづくり課長。

○観光まちづくり課長（河野洋一君）観光まちづくり課長の河野です。

1番 谷口議員の再質問にお答えします。

観光看板でございますけども、宇佐神宮でございますとか、すべていま設置をしているというわけじゃなくて、主要観光地である、例えば、宇佐駅。観光地ではないんですけども、宇佐駅の所でございますとか、あと九人ヶ峠の入り口、そういったところ。いま、院内と安心院の案内板がありますけども、そういった部分も英語表記をしていこうという計画があるということであります。

それから、いま、インバウンドにご関心をお持ちのようでございますけども、宇佐市においては、いま、中国語、英語等を話せる方を2名、7月に採用しますので、7名ぐらい採用してですね、外国の方から見て宇佐市の観光がどうなのか、また、来た方にどうすれば、外国人に対して親切にできるのか、そういった観光を目指そうということで、多国語の話せる方をいま雇用してインバウンド対策を進めようという、今年が初めの年とさせていただいて結構かと思えます。

以上です。

○議長（中島孝行君）2番 高月麻友さん。

○2番（高月麻友さん）2番 高月麻友です。

3項目めの1点目について再質問します。

実際に暮らしている私たちの実感からすると、路線バスが9路線と全体の半分以下、コミュニティバスは週2回で1日1往復の運航では少なすぎると感じます。私たち高校生も、バスを使って別府市に行くことはバス停などの情報も分からず、選択肢に上がりません。

そこで、再質問です。利用者を増やすために何か工夫をしていますか。

○議長（中島孝行君）企画財政課長。

○企画財政課長（江口弘和君）企画財政課長の江口でございます。

2番 高月議員の再質問にお答えをいたします。

ご指摘のとおり、利用者を増やすためにどういった対策をしているかということでございますが、最近では、市内、駅、中心部をつなぐ市内循環バスというのを試験運行いたしました。特に午前中に出て用事を済ませて、午後帰るといような利用客がアンケート調査で分かってきておりますので、その辺で実証実験をやって、どうやって利用率を向上していくかということ市役所の中で立ち上げている「公共交通会議」の中で色々議論をしているという状況であります。

特に先ほどお答えをいたしましたように、コミュニティバス、これは、26年度決算ベースでございますが、コミュニティバスの経費だけで3,000万円。路線バスの赤字補填で2,000万円。もう、その両方で5,000万円かかっている。さらに、遠距離通学の補助、スクールバスの補助を入れると、宇佐市全体で7,000万円ぐらいかかっているということで、より有効な経費の使い方というか、皆さんに利用率を上げていこうというふうに、いま、市内では、交通事業者と協議をしながら努力をしているという状況であります。

以上です。

○議長（中島孝行君）3番 西 凌人君。

○3番（西 凌人君）3項目めの2点目について再質問します。

地域の声を伺うとは、具体的にどのような方法を考えていますか。

○議長（中島孝行君）企画財政課長。

○企画財政課長（江口弘和君）3番 西議員の再質問にお答えします。

地域の声っていうのが、先ほど説明をいたしました、宇佐市の「地域公共交通会議」っていう会議がありまして、この会議の中には、例えば、陸運局の職員、警察、大分県、バス事業者、タクシー協会の代表の方、それと地域代表ということで、自治委員、区長、自治会の会長とか、そういった交通関係の事業者が集まって、例えば、便数はどうだとか、バス停の位置はどうかとか、いま走っている路線についてはどうかとかいうようなことを、コミュニティバス、また、路線バスについてやっております。

議員ご指摘のとおり、今回のコミュニティバスというのは、平成17年の3月に宇佐市が合併した時の目玉の事業で、合併するので市内のコミュニティバスを充実していこうという目玉商品で売ってきた事業であります。10年経過をして高齢化の進展とか、地域の事情も変わってきましたので、指摘のとおりこの実情を見ながら、こういった会議の中で、大分県にもいま計画を作っておりますので、県とも情報交換しながら、しっかり利用者の利便性の向上になるように、がんばっていききたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（中島孝行君）1番 谷口結愛さん。

○1番（谷口結愛さん）以上で、安心院高校の質問を終わります。

ありがとうございました。一同起立。礼。

○議長（中島孝行君）以上で、安心院高校の高校生議員の一般質問を終結いたします。

【 柳ヶ浦高等学校 】

○議長（中島孝行君）次に、柳ヶ浦高校。代表3名の方、ご登壇のうえ、ご質問ください。

○四番（大塚直恕君）皆様、こんにちは。私は、柳ヶ浦高校代表四番 大塚直恕です。

第1回目の質問を行います。

私は、本校では生徒会長を務めております。そして、私は、出身の愛知県を離れ、高校生活をこの宇佐市で過ごしております。また、本校では野球部に所属し、甲子園出場を目指し、日々厳しい練習に励んでいます。

さて、先日、私たち野球部が毎日練習しているグラウンドの隣に大規模なごみ処理場が建設予定であると顧問の先生からお聞きしました。調べてみると、宇佐市だけではなく、豊後高田市や国東地域を含めた大型処理場が平成30年度中に建設されると分かりました。

そこで、私からの一般質問として1項目めの「宇佐・高田・国東広域クリーンセンターの建設について」お伺いします。

1点目は、この施設が完成する平成30年度中までの建設工事計画と周辺整備について、中でも周辺の安全面について、工事中いつも通りに練習が行えるか心配に思っていますので、お聞きいたします。

2点目に、この施設が完成し、稼働し始めた後、我々周辺に住む人たちの環境問題について汚染や森林生態系への影響がどれくらい予想されているのかお聞きいたします。

第1回目の質問を終わります。

○5番（川口貴之君）柳ヶ浦高校5番 川口貴之です。

第1回目の質問を行います。私は福岡市出身で、この宇佐市で高校生活を過ごしております。また、本校では、野球部に所属し、再び母校を甲子園出場へと導くため、毎日の練習に励んでおります。

さて、私からの一般質問、2項目めの「市内のまちづくりについて」お聞きします。

1点目は、私たち高校生が余暇を過ごせる商業施設が、この宇佐市内には少ないように思われます。今後、若者で賑わう大型商業施設などの誘致予定があるのでしょうか。お聞きいたします。

2点目に、私たちの通学路にもなっている本校前の道路が近々拡張整備されると先生よりお聞きしました。そこで、JR柳ヶ浦駅周辺の都市開発について今後どのような計画があるのかお聞きいたします。

以上で、第1回目の質問を終わります。

○6番（落合 楓さん）こんにちは。柳ヶ浦高等学校代表6番 落合 楓と申します。

本校では生徒会副会長を務めております。よろしくお願ひいたします。

第1回目の質問を行います。

私は、宇佐市に生まれ、将来はこの宇佐市で夢である看護師となり、地域貢献をしたいと思い現在、高校生活を送っております。

さて、私からの一般質問、3項目めの「宇佐市の医療について」お聞きします。

1点目は、現在、市内の救急指定病院として宇佐高田医師会病院がありますが、市街地からは遠い場所に位置しています。今後、利便性の良い市街地にて救急病院開設の計画はあるのでしょうか。

うか。現状を含めてお聞きいたします。

2点目に、宇佐市の医療施設について、私たち未成年にも分かりやすく病院検索ができるインターネット上のホームページ開設が行政指導によってできないのでしょうか。お聞きいたします。

以上で、柳ヶ浦高等学校、第1回目の質問を終わります。

○議長（中島孝行君） それでは、柳ヶ浦高校の高校生議員の一般質問に対する執行部の答弁を求めます。まず、宇佐市長 是永 修治 君。

○宇佐市長（是永修治君） 市長の是永でございます。

6番 落合議員の一般質問にお答えをいたします。

3項目め、「宇佐市の医療について」の1点目「今後、市街地における救急病院の開設予定があるか、現状を含めてお聞きしたい」についてであります。まず、現状といたしまして、比較的軽微な患者に対応する初期救急医療については、掛付け医療機関で対応いたします。また、休日は休日在宅当番医制により市内3か所の病院が輪番制で診療にあたっています。

次に、手術や入院が必要な症状の重い救急患者に対応する第二次救急医療につきましては、宇佐高田医師会病院が休日夜間を問わず救急患者を受け入れております。また、大分県知事が指定する救急指定病院として、佐藤第一病院と黒田整形外科の2医療機関が救急隊より搬送される傷病者の受け入れを行っています。

市内の病院で対応できない複数の診療領域にわたる重篤患者に対しては、高度な専門的治療を実施する第三次救急医療施設であるアルメイダ病院、県立病院、大分大学付属病院及び新別府病院の救急救命センターと連携して対応しております。さらに、緊急性がある場合には、大分県ドクターヘリと連携し対応することもあります。

市街地における救急病院の開設につきましては、具体的な予定はありませんが、市医師会が運営している宇佐高田医師会病院の建て替えに関する要望は伺っております。しかしながら、現時点で建替場所や経費負担の問題など、具体的な内容をまとめるまでには至っておりません。

今後とも市医師会や宇佐高田医師会病院と協議しながら、宇佐市の救急医療体制がより充実できるように連携を強化してまいりたいと考えています。

以上で、私からの答弁は終わりますが、その他の質問につきましては、担当部課長から答弁いたしますので、よろしくお聞きいたします。

○議長（中島孝行君） 次に、1項目めの「宇佐・高田・国東広域クリーンセンターの建設について」を、市民生活部長 田口 憲明 君。

○市民生活部長（田口憲明君） 皆さん、こんにちは。市民生活部長の田口です。

4番 大塚議員の一般質問にお答えします。

1項目め、「宇佐・高田・国東広域クリーンセンターの建設について」の1点目「今後の建設工事計画と周辺整備」についてですが、広域クリーンセンターの建設については、宇佐市、豊後高田市、国東市で構成する宇佐・高田・国東広域事務組合が行っています。本市とは別組織であり、広域事務組合の議会も別にありますので、本議会で答弁できることは、広域事務組合に尋ねた範囲に限られますことをご了承いただきたいと思います。

広域事務組合によりますと、広域クリーンセンターは平成32年3月の稼働を目指しており、設計・施工・運営を一括して発注する入札公告を4月に行い、現在は事業者を募集しているところだと伺っています。

今後の建設工事計画については、入札を行い、広域事務組合議会の議決を経て契約を締結した後、実施設計に取り掛かることになっているとのことです。なお、造成工事については、今年から行う予定だと聞いております。

また、周辺整備についてですが、本市では、平成24年度に作成した「宇佐市緑の基本計画」に基づき、公園・緑地が不足している地区の解消に向け、広域クリーンセンターの建設に併せて隣接地に都市公園の建設計画を進めています。

現時点では広域クリーンセンターから出る余熱を利用して、子どもから高齢者までを対象とした市民が交流できるふれあいの場所づくりとして「福祉関連施設」、「スポーツ関連施設」、「防災機能を持った公園施設」の3つを柱に、庁内に設置した検討委員会で協議しているところです。

2点目「完成施設の稼働後、近隣の環境汚染と森林生態系への影響をどのように予測しているか」についてですが、広域事務組合では、生活環境影響調査を専門の業者に委託して、平成26年10月から1年間をかけて実施しました。その報告書によりますと、大気、水質、騒音、振動、悪臭について現況把握と予測及び影響の分析を行い、すべての項目で生活環境の保全上の目標との整合性が図られているとのことです。

また、広域クリーンセンター稼働後は、定期的に環境測定を行い、国の環境基準より厳しい独自基準を設けて運用することとしていますので、環境汚染や生態系への影響は極めて低いものと予測していると聞いています。

以上で、答弁を終わります。

○議長（中島孝行君）次に、2項目めの「市内のまちづくりについて」の（1）を、経済部長 山本 恵太 君。

○経済部長（山本恵太君）皆さん、こんにちは。経済部長の山本でございます。

5番 川口議員の一般質問にお答えします。

2項目め、「市内のまちづくりについて」の1点目「若者が賑わう商業施設が市内には乏しいと思われる。今後、大型商業施設の誘致予定があるか」についてでございますが、若者にとって魅力のある商業施設の充実、まちづくりを進めるうえで、若者の定住をはじめ、地域活性化に大きく寄与できることから大変重要だと考えています。とりわけ、若い世代の方を中心に集客力のある大型商業施設につきましても、JR大分駅にテナント・映画館・ホテルなどを併設した複合商業施設「JRおおいたシティ」が昨年4月のオープン以降人気を博している例からも市内外から多くの誘客が図られ、地域経済の活性化、交流人口の増加、若者の定住、雇用の場の確保に大変効果があるものと認識しております。

その一方で、大型商業施設の進出には土地利用に係る法規制や開発事業者が見込む商圏人口が大きいことのほかに、進出後に既存の商業施設の撤退や地元商店街の衰退など、多くの課題が考えられます。

現在、本市では、中規模のディスカウントストアやドラッグストアなどの活発な投資が続いています。議員ご指摘の、大型商業施設の進出計画はございませんが、今後、商業やサービス業をはじめとした企業を呼び込めるよう環境整備と併せて、開発事業者の進出動向の情報把握に努めてまいります。

以上で、答弁を終わります。

○議長（中島孝行君）次に、2項目めの「市内のまちづくりについて」の（2）を、建設水道部長

原田 雅且 君。

○建設水道部長（原田雅且君）建設水道部長の原田です。

5番 川口議員の一般質問にお答えします。

2項目め、「市内のまちづくりについて」の2点目「JR柳ヶ浦駅周辺の今後の整備計画」についてですが、柳ヶ浦高校の前を走り、市の南北都市軸を形成する都市計画道路「柳ヶ浦上栞田線」と柳ヶ浦駅へと通ずる市道「柳ヶ浦中央線」の一部が、平成25年度より県と市によって事業化され、現在は道路拡幅に伴う用地買収などから整備を進めています

また、柳ヶ浦駅の南側を走り、市の東西都市軸を形成する都市計画道路「黒川松崎線」につきましましては、県の道路整備の基本方針を定めた「おおいたの道構想2015」で、「地域高規格道路宇佐国見道路の機能を代替する道路として整備を進める」と定められており、これに基づいて県が道路構造の検討を進めていますので、できるだけ早く工事着手できるように要請しているところでございます。

これらを踏まえて、本市の玄関駅として位置付けている柳ヶ浦駅を核とした北部交流拠点としての駅周辺整備の構想策定にも一昨年度より取り組んでおり、柳ヶ浦高校の生徒の皆さんからも市民ヒアリングを通じて駅周辺を取り巻く現状や課題、要望などの貴重なご意見をいただきました。基本構想は本年3月に取りまとめることができ、今年度は、この基本構想を実現するため基本計画の策定を行っていく予定です。

また、そのほかに柳ヶ浦地区では公共下水道事業の整備計画も進めており、本年度は、都市計画法に基づく都市計画決定や下水道法に基づく下水道事業認可の取得など、必要な法的手続きを行ってまいります。

以上で、答弁を終わります。

○議長（中島孝行君）最後に、3項目めの「宇佐市の医療について」の（2）を、福祉保健部長土居 秀徳 君。

○福祉保健部長（土居秀徳君）皆さん、こんにちは。福祉保健部長の土居です。

6番 落合議員の一般質問にお答えします。

3項目め、「宇佐市の医療について」の2点目「分かりやすく病院検索ができるホームページの開設が可能か」についてですが、病院等の施設情報のような社会資源的な情報は、必要な時に誰もが見ることができるような環境を整備しておく必要があります。病院等の施設情報につきましては、市のホームページに県北地域及び豊前・築上地域を含めた医療機関、歯科診療所等の診療科目、診療時間や地図等を掲載した「暮らし安心医療ナビ」をPDF形式で掲載しています。

また、休日当番医のページからは県の「医療情報ほっとネット」にリンクでき、県内の医療機関、薬局等をパソコンやスマートフォンで検索できるようにしています。

今後も分かりやすく、見やすい情報提供に努めてまいりたいと思います。

以上で、答弁を終わります。

○議長（中島孝行君）以上で執行部の答弁は終わりましたが、再質問があれば許します。

4番 大塚直恕君。

○4番（大塚直恕君）4番 大塚直恕です。それでは、再質問をさせていただきます。

1項目めの1点目について再質問します。

「宇佐・高田・国東広域クリーンセンターの建設について」のご答弁に、建設については、宇

佐・高田・国東広域事務組合が管理されているとのことですが、今後、建設工事中に何か要望などがあれば、先ほどの事務組合に直接お問い合わせをしてよいでしょうか、お伺いします。

○議長（中島孝行君）生活環境課長。

○生活環境課長（江口誠治君）生活環境課長の江口でございます。

4番 大塚議員の再質問にお答えいたします。

所管は先ほど答弁をいたしましたとおり、広域事務組合が所管をしております。今後、色々なご要望等がございましたら、まずは広域事務組合の方にご相談をしていただきたいというふうに思っておりますし、当課でお答えをできるもの等がございましたら、当課でもお答えをいたしたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（中島孝行君）ほかにありませんか。7番 山下 瑞稀さん。

○7番（山下瑞稀さん）7番 山下瑞稀です。

3項目めの「宇佐市の医療について」再質問させていただきます。

1点目にて、重篤患者様の対応は行き届いていることが分かりました。しかしながら、特に土日祝日における軽傷の患者様への対応について、もっと充実した当番体制を行政指導のもとで行うことは難しいのでしょうか。

と申しますのも、先日本校の女子サッカー部員が日曜日の練習試合にて、鼻骨を骨折しました。その際、市内の当番病院すべてで専門外ということでお断りされ、月曜日まで我慢したそうです。是非とも、よろしく願いいたします。

○議長（中島孝行君）健康課長。

○健康課長（祥雲弘一君）健康課長の祥雲と申します。

7番 山下議員の再質問にお答えをいたします。

通常であれば、医師会病院等につきましては、緊急搬送による入院治療を必要とする重症患者を対象としております。第二次の医療体制におきましては、夜間休日については、この医師会病院に搬送されるのが通常でございます。であります。まずは掛かり付け医に見ていただいて、掛かり付け医の紹介状があれば医師会の方でも受け付けが可能というふうになっておりますので、まずはそこで見ていただきたいと思っております。

ただし、先ほども申しましたご意見がありましたとおり、夜間休日におきましては、休日におきましては、当番医院制度もございますけれども、夜間につきましては、なかなか、この医師会病院での対応も難しいところがございますので、今後は医師会とも協力しながら、調査研究をしてまいりたいというふうには思っているところではあります。

以上でございます。

○議長（中島孝行君）6番 落合 楓さん。

○6番（落合 楓さん）6番 落合 楓です。

1項目めの、現時点では、広域クリーンセンターから出る余熱を利用して、子どもから高齢者までを対象とした市民が交流できるふれあいの場所づくりとして福祉関連施設、スポーツ関連施設、防災機能を持った公園施設の3つを柱に庁内に設置した検討委員会で協議しているということなのですが、具体的にどの場所で作ろうと思っているかなどは考えていますか。

○議長（中島孝行君）建設水道部長。

○建設水道部長（原田雅且君）都市計画課長の原田でございます。

都市計画公園の場所というお尋ねでございますが、クリーンセンターの位置は分かると思えます。その北側になります、西大堀に行くクリーンセンターの横から西大堀の集落に向かう市道がございますが、その市道の隣接した部分で横の田んぼより一段高くなっている、クリーンセンターと同じくらいの高さの畑地等がございます。そこの位置を予定しております。面積は3.1ヘクタールです。

以上です。

○四番（大塚直恕君）一同起立。以上で柳ヶ浦高校の一般質問を終わります。

ありがとうございました。

○議長（中島孝行君）以上で、柳ヶ浦高校の高校生議員の一般質問を終結いたします。

ただいま、一般質問の途中ではありますが、ここで暫時休憩をいたします。

なお、再開は15時5分といたします。休憩します。

休憩 午後2時53分

再開 午後3時5分

【 宇佐高等学校 】

○議長（中島孝行君）休憩前に引き続き会議を開きます。一般質問を続行いたします。

次に、宇佐高校。代表3名の方、ご登壇のうえ、ご質問ください。

○8番（日浦拓海君）宇佐高校8番 日浦拓海です。

私は、いま高校3年生でセンター試験という受験を控えており、将来は宇佐市の仕事に役立てたいと思い、議会に参加しました。

私からの質問は、「交通体系について」です。

まず、宇佐市上田、商工会議所前の交差点に信号設置をお願いしたいと思います。理由としては、私は、よくそこの近くの道路をよく通ります。ほかの車を見てみると、「止まれ」の標識を越して横断歩道にはみ出したりしないと左右が良く見えないということが多数あります。私も自分の親の車でその道を通る時に、その交差点によく止まります。しかし、「止まれ」の標識を越さないと左右が良く見えないということが分かりました。そこで信号機を設置することにより、歩行者の邪魔にもならず、ヒヤリハットを無くせます。私たち宇佐高校は、交通自治委員によるヒヤリハットマップを設置し、事故を防ごうとしています。宇佐市の事故を減らすためにも、その場所に信号機設置をお願いしたいと思います。

次に、2月に試験運転された市内循環バスについてです。宇佐高校では、毎日、2、3人が利用しており、大変便利なものでありました。また、バスをノンステップにすると高齢者の方も利用しやすいと思います。今後市内循環バスを導入する計画はあるのですか。

最後に、フラワーロードについてです。糸口から下高のフラワーロードにおいて、花壇が整備されていないので、整備していただきたいと思います。理由は、湯口議員が通学路としてフラワーロードを活用しています。しかし、花壇が雑草まみれで、とても良い気持ちにはなれません。また、交通量も多いですので、皆さん感じられていることは同じだと思います。また、整備が行われている一部の花壇では、車道に出て作業をしている方々がいらっしゃいます。トラックの交通量も多いと感じられますので、安全面での指導が必要であると思います。

これで第1回目の質問を終わります。

○9番（久保優子さん）こんにちは。宇佐高校代表 9番 久保優子です。

私は、将来、法学部に進みたいと、このような政治に興味があったので、参加することを決意しました。

発言通告書に沿って第1回目の質問を行います。

第2項目めの「空き家・空き店舗問題について」です。

私は、宇佐市に住んでいるのですが、宇佐の街を全体的に見ていく中で、空き店舗、空き家の多さが問題だと思います。国道10号線沿いにも目立つ空き家、空き店舗などがいくつもあり、他の市町村から来た人などは、宇佐市に寂れた印象を持ってしまうと思います。空いた土地を公園や駐車場として有効活用することにより、もっと暮らしやすい宇佐市になると思います。そこで、宇佐神宮の近くに地元住民にも便利なコンビニを作ってみてはどうでしょうか。

続いて、空き家対策についてです。空き家を改修して活用している人が、2015まちづくりレポートの9ページにある空き家活用から10組19名いることが分かり、これはとても良いこ

とだと思いました。しかし、活用できないほど老朽化が進んでしまっている空き家はどのようにするのですか。大規模な地震などの自然災害で隣接する家に被害がでたらどうするのですか。実際、金田さんの家から細い道路を挟んだ隣の家には空き家があります。以前、台風によって屋根の瓦が3、4枚落ちて道路に散乱していたのを見たことがあり、いまでも、屋根を見ると瓦が落ちてきそうな状態にあるそうです。もし、その時、人がいたら大変危険だと思います。市の空き家対策についての対応が聞きたいです。

以上で、第1回目の質問を終わります。

○10番（相良美月さん） こんにちは。宇佐高校10番 相良美月です。

発言通告に沿って第1回目の質問を行います。

3項目め、「宇佐神宮の活性化について」。

宇佐と言えば、宇佐神宮ではないでしょうか。祖父が言うには、宇佐神宮があるので、大きな災害が無いのだそうです。SNSやインターネットで魅力ある動画や写真などでPRすれば、世界からたくさんの観光客が訪れます。見知らぬ土地では案内板などが少ないと、皆さんも不安ではないでしょうか。また、学校の帰りに仲見世に行くことがあります。開いている店が少なく活気がありません。大宰府や伊勢神宮など、全国には歩くだけでも楽しい仲見世がたくさんあります。是非、PRと併せて受け入れの整備をお願いします。

続いて四項目め、「スマホ世代をターゲットにした情報発信について」。

1点目、SNSの魅力的な情報発信について。私たち高校生から子育て世代の方は、広報誌よりスマホやインターネットを頻繁に利用しています。宇佐市でもSNSやインターネット動画で情報発信しているのは知っていますが、もう少し若者をターゲットにした情報も発信してはどうでしょうか。是非、私たちが楽しみにするSNSイベントや情報発信をお願いします。

2点目、災害時の情報発信について。宇佐市には宇佐神宮があるので、災害が起こらないという人もいますが、災害はいつ起こるか分かりません。避難グッズを備えるとともに、Twitterを情報の発信や収集に利用してはどうでしょうか。

東日本大震災、熊本地震などでは、インターネットや電話回線がパンクしてもSNSだけは使用できたそうです。まず、Twitterで共通のハッシュタグ、ここでは「ハッシュタグ宇佐市災害」とします。間違った情報やデマも考えられるので、位置情報付きの情報を載せ、災害状況をツイートします。行政と市民はもちろんのこと、市民同士も災害情報を共有できます。通行止めや避難状況、救助要請など、いざという時にきっと役に立ちます。災害が起こってからではパニックになってしまうと思います。行政機関が被災することも考えられるので、是非、市民全員で備えましょう。

以上で、宇佐高校第1回目の質問を終わります。

○議長（中島孝行君） それでは、宇佐高校の高校生議員の一般質問に対する執行部の答弁を求めます。まず、宇佐市長 是永 修治 君。

○宇佐市長（是永修治君） 市長の是永です。10番 相良議員の一般質問にお答えをいたします。

3項目め、「宇佐神宮活性化について」の1点目「仲見世の数や外国人でも理解できる地図が少ないのではないかな。加えて、市がもっと宇佐神宮の魅力をPRすべきでは」についてですが、仲見世の数等につきましては、宇佐神宮仲見世会という団体の所管となっておりますので、議員ご指摘の内容を伝えてまいりたいと考えております。

次に、外国人観光客向けの地図につきましては、平成27年度に神宮周辺や横町通り、勅使街道などに日本語と英語を表記した案内板を整備しました。また、八幡駐車場のトイレ付近には、以前より設置していた多国語表記の案内板に加え、新たに英語の境内案内図の設置を行っております。さらに、日本語、英語、韓国語、中国語対応のタッチペンと専用ガイドマップで宇佐神宮の説明を聞くことができる音声ガイドシステムも導入するなど、外国人観光客への利便性向上に努めているところであります。

一方、ハード面では、神宮周辺を歴史的街なみの残る観光交流拠点の最重要地域として位置づけ、平成25年度から「街なみ環境整備事業」を導入いたしております。当面の目標でありました「横町通り」約300mの無電柱化及び道路美装化を昨年9月に完成させたところであり、引き続き神宮周辺の景観整備に努めてまいります。

次に、PRについてですが、昨年は74年ぶりに行われた遷座祭、10年に1度の勅祭、戸畑祇園大山笠の奉納などの大きな行事が執り行われたほか、今年3月にはEXILEのUSAさんによる奉納ダンスも実施をされ、全国に情報発信することができました。

以上のように、歴史的行事や神宮周辺整備等により活性化への気運が高まっていることから、今後も観光協会や宇佐神宮、また、神宮や神宮周辺を活性化しようとする地元組織との連携を深めながら、宇佐神宮の魅力をより一層PRしてまいりたいと考えております。

以上で、私からの答弁は終わりますが、その他の質問につきましては、担当部課長から答弁いたしますので、よろしくお願いをいたします。

○議長（中島孝行君）次に、1項目めの「交通体系について」の（1）と（3）を、建設水道部長原田 雅且 君。

○建設水道部長（原田雅且君）こんにちは。建設水道部長の原田です。

8番 日浦議員の一般質問にお答えします。

1項目め、「交通体系について」の1点目「宇佐市上田交差点の信号機設置について」ですが、ご指摘の交差点は、市役所前からドラッグストア モリに通じる道路と、辛島地区のローソンから海岸線を結ぶ道路が交わる交差点と思われます。

当該交差点は、交通量が多い上、変則交差点であることから、信号機の管理者である公安委員会に設置を要望したところ、「宇佐商工会議所北側の道路の幅員が狭く、停車スペースが確保できないなど、道路形状の関係から信号機設置は困難である」との回答がありました。

一方で、国道10号線や辛島交差点の渋滞緩和等を図ることを目的に、都市計画道路「上田四日市線」の一部である当該交差点から四日市郵便局前までの間の整備に平成27年度より着手しているところでございます。そのため、都市計画道路「上田四日市線」の整備により信号が設置できるよう道路形状を整え、公安委員会に信号機設置を要望していきたいと考えています。

続きまして、1項目め、「交通体系について」の3点目「フラワーロードの整備と安全面の指導」についてですが、フラワーロードにおける花壇整備は「緑豊かなまちづくり」の一環として平成5年から始まり今年で24年目になります。本取り組みは、県道「和気佐野線」の植樹帯7.6キロメートルを県より占用させていただき、現在は208団体の方々が市民活動として取り組んでいます。ピーク時には261団体の花壇管理者がいましたが、近年は管理者の高齢化等により減少傾向となっています。

また、この活動を取り組んでいく中でも様々な課題を抱えており、市では、平成26年度に花

壇管理者に対して「フラワーロードの管理に関するアンケート調査」を実施し、課題解決に向けた調査研究を行ったところです。

アンケート結果に基づく検討課題としましては、水やりの問題、交通安全の問題、花壇の土壌問題、管理者の高齢化の問題、花の苗代の問題などが挙げられ、昨年度よりその解決に向けた取り組みを実施しています。

その中で、議員ご指摘の、交通安全対策としましては、市から「作業中」と表示したカラーコーンを貸出し、それを作業の際に設置することで、運転者に注意を促しています。

なお、花壇管理者が不在となっている花壇対応につきましては、更なる広報活動を通じて管理者を募り、少しでも花壇が整備されるよう努めていきたいと考えています。

以上で、答弁を終わります。

○議長（中島孝行君）次に、1項目めの「交通体系について」の（2）と、2項目めの「空き店舗・空き家について」の（2）と、四項目めの「スマホ世代への情報発信について」を、総務部長永野 直行 君。

○総務部長（永野直行君）総務部長の永野です。

8番 日浦議員の一般質問にお答えします。

1項目め、「交通体系について」の2点目「市内循環バスの早期導入とノンステップバスの導入」についてですが、市内循環バスについては、本年1月4日から2月29日までの間、宇佐駅と柳ヶ浦駅を結び、市内主要施設を時計回り・反時計回りの2方向で、日曜日を除く1日6回、運賃一律200円で実証運行調査を行いました。

運行にあたっては、平成25年度に実施した公共交通調査事業によるデータの活用、また、市内高等学校のヒアリングにより、電車とのアクセスを考慮するとともに、2次交通として宇佐駅・柳ヶ浦駅と本市の観光拠点である宇佐神宮等を結び、かつ、通勤・買い物・通院をターゲットとした停留所を設置したルートを設定しました。運行実績としましては、実証運行調査の2か月で延べ612人が利用し、片道1便あたり平均乗車率は2.14人となっています。

今年度、国の補助金を活用して再度実証運行を行い、導入に向けた調査を行ってまいりますが、現在、県、近隣市並びに運行事業者と幹線系統の路線の再編を行っており、市内各路線との運行調整が必要となりますので、導入については総合的に勘案しながら慎重に検討してまいります。

次に、ノンステップバスは段差解消に有効と考えますが、現在、路線バスとコミュニティバスは、民間運行事業者が保有している車両により運行されているため、車両の更新については事業者と協議しながら、利便性の向上に取り組んでまいります。

次に、9番 久保議員の一般質問にお答えします。

2項目め、「空き店舗・空き家について」の2点目「老朽化している空き家への対応」についてですが、近年、所有者の高齢化や経済的な理由などにより、適正な管理がされていない空き家が増え、全国的な問題になっています。このような空き家を放置すると倒壊や防犯上悪影響を与え、市民の安心・安全な生活を大きく阻害する恐れがあります。そこで、本市では、平成26年10月1日に「宇佐市空き家等の適正管理に関する条例」を制定し、管理不全な空き家の所有者の調査を行うとともに、改善に向けた指導などを行ってきました。

また、国では、空き家問題に対応するため、平成27年5月26日に「空家等対策の推進に関する特別措置法」を施行し、所有者調査における税情報などの利用ができるようにし、命令に従

わない場合は50万円の過料を課すなど厳しい罰則規定なども設けられています。本来、法制度において、建築物は一般住宅等も含めてその所有者などが常時適正な状態に維持管理するように努めなければならないとされています。

市といたしましては、市民の皆様から情報提供していただいた空き家などを職員が現地調査し、災害などにより周囲に危険、あるいは迷惑を及ぼす恐れがある場合には、所有者や管理者に対して適正管理を促す指導を行っています。

次に、10番 相良議員の一般質問にお答えします。

4項目め、「スマホ世代をターゲットにした情報発信について」の1点目「私たち高校生が興味を持てる市内の最新情報をもっと増やせば盛り上がるのではないか」についてですが、市では、より多くの方に興味を持ってもらえるよう、Facebookを活用した写真の投稿やYouTubeを活用した動画配信など、SNSを活用して宇佐市の魅力を発信しています。

特にインターネット動画は、文章や写真に比べ利用する方にイメージを伝えやすいため、若い方の目線でレポートを行っていただくことで、より魅力が増すのではないかと感じていますが、周知が不足していることもあり思うような運用ができていない状況であります。今後は高校生のみなさんにもアイデアをいただきながら、より良い番組を制作し情報発信できるよう取り組んでまいります。

2点目「今後、大きな地震がおきた時に、Twitterでのハッシュタグを使った被害状況報告はしないのか」についてですが、本市では、災害発生時には、防災行政無線に加え、電子媒体として、ホームページ上に専用のコーナーを設けるなど、災害情報の発信に努めています。

TwitterやFacebook等のSNSは、電話回線に比べ通信障害が起きにくく、今回の熊本地震でも幅広く活用されるなど、災害時における有効な情報伝達方法であると認識しています。

今後は災害情報の効果的な収集や報告の手段として、Twitterをはじめとした公式SNSの活用について、調査研究をしてまいりたいと考えています。

以上で、答弁を終わります。

○議長（中島孝行君）最後に、2項目めの「空き店舗・空き家について」の（1）を、経済部長 山本 恵太 君。

○経済部長（山本恵太君）経済部長の山本でございます。

9番 久保議員の一般質問にお答えします。

2項目め、「空き店舗・空き家について」の1点目「空き店舗活用について」ですが、議員ご指摘のとおり、少子高齢化の進展や商店主の高齢化、大型店の出店等により、市内の事業所の数が減っている状況です。

市といたしましては、街なみ環境整備事業の実施により、新たな街なみに生まれ変わった宇佐地区並びに四日市地区の一部を対象に、平成28年度から空き店舗等を活用して営業される方へ家賃の一部を補助する「宇佐市街なみ環境整備地区空き家空き店舗対策事業補助金」を創設し、新規出店の促進に努めているところでございます。

議員ご提案の、宇佐神宮近くでのコンビニ設立についてでございますが、コンビニは、金融・行政など幅広いサービスを提供する社会インフラとして浸透しており、このたびの熊本地震におきましても生活インフラとして重要性が認識されるなど、地域住民や観光客にとって買い物の利

便性向上に大変期待できるものと考えているところでございます。

市では、今年度から買い物弱者対策といたしまして「宇佐市周辺地域コンビニ設立補助金」を創設し、周辺地域でのコンビニ出店を促すことで地域住民の利便性の向上を図ることとしております。

以上で、答弁を終わります。

○議長（中島孝行君）以上で、執行部の答弁は終わりましたが、再質問があれば許します。

8番 日浦拓海君

○8番（日浦拓海君）8番 日浦拓海です。

答弁書の中に、「辛島交差点から四日市郵便局前までの整備に着手している」と書かれていますが、完成予定はいつになるのでしょうか。

○議長（中島孝行君）建設水道部長。

○建設水道部長（原田雅且君）都市計画課長の原田でございます。

8番 日浦議員の再質問にお答えします。

この道路の完成予定でございますが、5年間を一期として工事を計画しております。最初の5年間ではちょっと全体的には無理ですので、最終的には平成37、38年頃が完了の予定でございますが、交差点につきましては、一部供用開始を早めたいということで、先ほど言われました交差点の方から工事を始めれば平成32年頃には供用開始できるのではないかと考えております。

以上でございます。

○議長（中島孝行君）9番 久保優子さん。

○9番（久保優子さん）9番 久保優子です。

2項目めの「空き家、空き店舗について」再質問いたします。

具体的に、コンビニに金銭的な援助だけでなく、配達サービスの補助などは考えていないのですか。

○議長（中島孝行君）商工振興課長。

○商工振興課長（城 隆弘君）商工振興課長の城でございます。

久保議員の再質問にお答えさせていただきます。

今年、コンビニ補助金というものを初めて作りました。いま、議員がおっしゃられた、配達という部分につきましては大変貴重なご意見だと思っております。というのが、いま現在、買い物弱者とって、なかなかその、お年をめしたりで買い物できないというところで、そういういったもので、コンビニ含めて、現在、コンビニのほうでもそういった配達をやっているというのはあるんですが、現在のところは配達に対しての支援というところまでは行っていませんが、大変貴重なご意見だというふうに承りたいと思います。

以上でございます。

○議長（中島孝行君）ほかに。10番 相良美月さん。

○10番（相良美月さん）10番 相良美月です。

4項目めの「SNSの魅力的な情報発信について」再質問いたします。

私たち高校生が頻繁に利用しているのは、Twitterです。宇佐市のTwitterは、つぶやきが少なく、Facebookのリンクでは時間がかかる上に、高校生利用者数がTwitterに比べて少ないため、あまり情報が回ってきません。

また、インターネット動画でも、私たち高校生が出演するような番組などを作れば、再生回数も上がるのではないのでしょうか。この2点についてどのように考えているか、お伺いします。

○議長（中島孝行君）秘書広報課長。

○秘書広報課長（若山雅敏君）秘書広報課長の若山です。

10番 相良議員の再質問にお答えします。

おっしゃられるとおり、Twitterで情報発信しておりますが、Facebookとのリンクという部分でお時間がかかるという部分もございます。早速、Twitterだけでも色々な情報が出るように改善をしていきたいというふうには思っております。

いずれにしても、情報発信、いまの部分で言えば、大変重要な、観光面含めてですね、行政の施策を発信する重要なツールでございますので、それに向けての改善に努めていきたいというふうにも思っております。さらに、若い人方たちの関心事というか、イベント参加等々につきましては、学校のイベントなど、色々またそういった形でインターネット動画に上げられたり出来ないかとか、高校生リポーター等をお願いしながら動画作成ができないかということも検討は理解しているところでございます。そういった部分につきましては、行政だけの判断ではできませんので、学校等々でご相談しながら、検討してまいりたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（中島孝行君）11番 折口里沙さん。

○11番（折口里沙さん）11番 折口里沙です。

1項目めの「市内循環バスについて」再質問いたします。

今年度、再度実証運行するとありますが、具体的には何月に、どれくらいの期間で運行するのですか。

○議長（中島孝行君）企画財政課長。

○企画財政課長（江口弘和君）企画財政課長の江口でございます。

11番 折口議員の再質問にお答えをいたします。

今年の実証運行はいつ頃になるかという再質問でございますが、本年度につきましては、秋口ぐらいで、夏休みの終わりぐらいに実証運行を本格的に進めて行こうかなと考えています。

以上です。

○議長（中島孝行君）12番 湯口諒万君。

○12番（湯口諒万君）12番 湯口諒万です。

1項目めの3点目「フラワーロードについて」再質問いたします。

フラワーロードにおける花壇整備が今年で24年目になることは、すごいことだと思います。フラワーロードの管理に関するアンケート調査に基づく検討課題の水やりの問題に関してですが、具体的にどのような取り組みを実施されているのですか。

○議長（中島孝行君）建設水道部長。

○建設水道部長（原田雅且君）都市計画課長の原田でございます。

アンケートに基づく具体的な取り組みでございますが、土壌が悪いという件につきましては、土壌の入れ替えを要望があったところではしております。

また、苗の購入費をどうにかしてくれないかという意見もございますが、苗の購入につきましては、いま、検討しているところなんです。宇佐産業科学高校さんに苗の生育のほうを一括お

願いたしまして、市のほうに安く譲っていただけないかなということを考えております。また、ボランティアで、無料で作ってくれている方もおります。

それから、肥料につきましては、花いっぱい運動に来た人には無料配布をしております。また、市のほうとしましては、1メートル当たり200円の補助を出しているところでございます。

以上です。

○議長（中島孝行君）ちょっと待ってください。

○建設水道課長（原田雅且君）大事な水やりを忘れてました。水やりにつきましては、いま現在、どうしたものかと、特にこれといった対策がございませんので、何か良い知恵があったら教えていただきたいと思っております。

以上です。

○議長（中島孝行君）13番 金田季子さん。

○13番（金田季子さん）13番 金田季子です。

2項目目の「空き家対策について」再質問いたします。

総務部長は、市民の皆様から情報提供していただいた空き家などを職員が現地調査をしているとおっしゃいましたが、今までいくつの空き家を調査してきたのですか。また、調査した後の空き家が危険だと分かったら、すぐに撤去するのですか。

○議長（中島孝行君）危機管理課主幹総括 樋田君。

○危機管理課主幹（総括）交通防犯係担当（樋田慶治君。）危機管理課交通防犯係主幹総括の樋田です。

13番 金田議員の再質問にお答えします。

市では、これまで55件の空き家等について調査の依頼がっております。相談をいただいております。その件について現地調査を行い、このうち1件は条例による指導を行っております。その他につきましては41件、空き家特措法に基づく調査を行っておりますが、同法に基づいた指導等までは行っておりません。いまのところ、お願い文書ということで、所有者を割出し、その方たちに適正管理をするようお願いをしているところであります。

以上です。

○議長（中島孝行君）8番 日浦拓海君。

○8番（日浦拓海君）8番 日浦拓海です。

答弁書の中にも、渋滞緩和などの取組みをやっていると書いてありましたが、昨日、辛島交差点を見に行ってきましたが、渋滞緩和施策がなっていないと思いました。そのため、信号が赤になっても右折したりする車が多数ありましたので、法鏡寺みたいな信号を付けるという渋滞緩和施策は一応立てているのですか。

○議長（中島孝行君）建設水道部長。

○建設水道部長（原田雅且君）都市計画課長の原田でございます。

辛島交差点につきましては、現在、土木課の方で道路幅員を広げる工事を行っております。それで、右折帯をもう少し長くとれるので、交通渋滞の緩和には幾分役立つのではないかと考えております。

以上でございます。

○議長（中島孝行君）10番 相良美月さん。

○10番（相良美月さん）10番 相良美月です。

4項目目の「災害時の情報発信について」再質問いたします。

国や全国の市町村では、ソーシャル防災訓練を行っているのはご存知でしょうか。防災に強いまち宇佐市にするには、日ごろから備えておかなければならないと思います。是非、行っていただきたいのですが、今後のご予定はありますか。

○議長（中島孝行君）危機管理課主幹総括 本浪君。

○危機管理課主幹（総括）防災係担当（本浪 亮君）危機管理課防災係主幹総括の本浪です。

相良議員の再質問にお答えします。

ソーシャル避難訓練は、近年、特に若い世代、いわゆるスマホ世代をターゲットに防災意識の啓発を図る目的で、都市部を中心に実施されているようです。

現時点におきまして、宇佐市での実施予定はございませんが、今回、議員からご質問がありました、ハッシュタグなど災害時におけるSNSの有効活用を促すためにも大変効果的な訓練であると思いますので、ヤフー防災速報との連携など、実現に向けた課題を1つずつクリアしてまいりたいと思います。

以上です。

○議長（中島孝行君）13番 金田季子さん。

○13番（金田季子さん）13番 金田季子です。

2項目目の「空き家対策について」再質問いたします。

危機管理課長は、空き家の55件中、1件しか撤去していないとお答えしましたが、44件、いま、所有者を探しているとお答えしましたが、どういう手続きに時間がかかれば、例えば、地震だったら、放置された空き家が余震などで倒壊する恐れがあるほか、復興の遅れにつながる可能性もあるが、この場合はどうするのでしょうか。

○議長（中島孝行君）危機管理課主幹総括 樋田君。

○危機管理課主幹（総括）交通防犯係担当（樋田慶治君）13番 金田議員の再質問にお答えします。

いまのところ、先ほど申しましたとおり、55件中の1件は条例による指導を行っております。残りの41件は、空き家特措法に基づく調査と言いますが、空き家特措法の方で税情報等を利用して所有者を判明させることができるというところを使って、いまのところ、所有者が判明したものについて、指導文書、お願い文書を送っている状況であります。

その他、件数が合わないと思いますけども、残りの分については、現地調査を行った結果、老朽家屋、危険家屋に当たらないという判断ですので、法律上、当たらなければ、税情報等の利用ができないというような状況であります。

災害時に、被害が出たらということですが、日本の法律上、空き家の所有者、管理者が一時的には責任を負うような形になっております。

○議長（中島孝行君）10番 相良美月さん。

○10番（相良美月さん）10番 相良美月です。

3項目目の「宇佐神宮活性化について」再質問いたします。

宇佐神宮が素晴らしいことは私も分かりますが、全国に4万社余りある八幡様の総本宮であることはPR不足のように感じます。このことをもっとPRすれば、観光客が増えるのではないか

と思うのですが、どうでしょうか。

○議長（中島孝行君）観光まちづくり課長。

○観光まちづくり課長（河野洋一君）観光まちづくり課長の河野です。

再質問にお答えいたします。

確かに、宇佐市で一番観光入込客数が多いのは宇佐神宮でありまして、非常に格式も高く、非常に注目されている神社であります。市としましては、観光協会等ございますし、いま、神宮の周辺を整備している組織等がございますので、そういった方々と協議を重ねながら、どういう方法でPRしていくことが一番宇佐神宮のPRにつながるのかと、そういう議論をしながら、いま、当然PRはしているんですけども、いま以上の方策を考えていきたいと、こういうふうを考えております。

ありがとうございます。

○議長（中島孝行君）8番 日浦拓海君。

○8番（日浦拓海君）以上を持ちまして、宇佐高校の質問を終わります。一同起立。礼。

○議長（中島孝行君）以上で、宇佐高校の高校生議員の一般質問を終結いたします。

【 宇佐産業科学高等学校 】

○議長（中島孝行君）次に、宇佐産業科学高校。代表者3名の方、ご登壇のうえ、ご質問ください。

○14番（井ノ口羽蘭さん）宇佐産業科学高等学校代表14番 井ノ口羽蘭です。

第1回目の質問を行います。

1項目め、「交通整備、環境整備について」。

1点目、登校中の児童の列に車が突っ込んだというような悲惨な事故をニュースでよく見聞きます。私は、バイク通学をしていますが、特に登校中使用する法鏡寺から四日市に行く道が狭く、さらに、バスやトラックなどの通行もあり、小中学生などの通学に危険が及んでいると思われれます。現状をどのように把握されていますか。また、悲惨な事故がこの宇佐市で決して起こらないよう、今後の整備計画があれば教えてください。

2点目、宇佐市は、JR駅から商店街や繁華街までが遠く、宇佐駅や柳ヶ浦駅などJR駅周辺には商店が少ない現状があります。そして、整備が遅れていると思います。また、JR駅からのバスの本数が少なく大変不便だと思います。それが観光客の減少や地元で生活したいと考える人の減少につながっているのではないのでしょうか。そういった交通環境の整備についてどう考えられていますか。

以上で、第1回目の質問を終わります。

○15番（早田美希さん）宇佐産業科学高校代表15番 早田美希です。

第1回目の質問を行います。

2項目め、「人口減少について」。

1点目、最近の宇佐市の人口構成を考えると、高齢者が増え、子どもが減ってきています。宝島社の「田舎暮らしの本」2月号で、「2016年版住みたい田舎ベストランキング」の全国第3位に宇佐市が選ばれたと聞きました。この調査は、定住促進に積極的な市町村を対象にアンケートを実施したものをランキング形式で紹介しているものです。アンケート内容には、田舎暮らしの実現に重要なポイントとなる移住者歓迎度、移住者支援制度の充実度、移住者受け入れ実績、老後の医療介護体制、子育てのしやすさなどが設定されています。

このように住みたい宇佐市をアピールする中、実際に県外から田舎暮らしを求めて移住してきた人はどれくらいいますか。また、その世代や家族構成について教えてください。

2点目、このランキング結果を活用して宇佐市の人口増加、活性化につなげていく具体的な計画がありますか。

3項目め、「観光客の誘致について」。

1点目、宇佐市に来る観光客数の推移はどのようなになっていますか。また、最近インバウンドで外国人も時々見かけるようになりましたが、観光客の誘致について、どのような取り組みをしているか教えてください。

2点目、私たちが思い浮かぶ観光名所は、宇佐神宮や院内町の石橋群、安心院町のぶどう狩りなどですが、他にどのような場所がありますか。また、その中に若者が、是非、訪れたいと思うような場所がありますか。

以上で第1回の質問を終わります。

○16番(松久凱哉君) 宇佐産業科学高校代表16番 松久凱哉です。

4項目め、最近の学校給食は嫌いなものは食べなくてもよいようになっています。しかし、栄養のバランスを考えると、出された給食を全部食べるのが理想だと思います。なので、給食を食べる小中学生の子どもたちに好き嫌いなく食べてもらえるのが一番だと思います。子どもたちに好き嫌いなく食べてもらうためには、どのような工夫をしていますか。

5項目め、いま、大震災などの災害は、いつ起こってもおかしくない状況にあります。いずれ起こるとされる南海トラフ地震にも万全の備えをしていく必要があります。そのような中、この宇佐市でも少子高齢化が大変進んでいるということが、災害対策の中で心配されます。いざ災害が発生した時、高齢者も自力で避難しなければならない状況が考えられます。それについて、災害対策はどうなっているか教えてください。

以上で、宇佐産業科学高等学校の1回目の質問を終わります。

○議長(中島孝行君) それでは、宇佐産業科学高校生議員の一般質問に対する執行部の答弁を求めます。まず、宇佐市長 是永 修治 君。

○宇佐市長(是永修治君) 市長の是永でございます。

15番 早田議員の一般質問にお答えします。

2項目め、「人口減少について」の1点目「田舎ベストランキングの全国第3位に宇佐市が選ばれたが、実際、県外から田舎暮らしを求めて移住してきた人数とその世代や家族構成は」についてであります。住みたい田舎ベストランキングは、宝島社が発行している「田舎暮らしの本」の中で移住政策等に関するアンケート項目のチェック数等により順位が決まるものであります。今回が4回目の開催となり、宇佐市は、豊後高田市と佐賀県の武雄市と共に3位という結果でしたが、アンケート項目の内容は10ジャンル106項目あり、1位との差はわずかに1ポイントでありました。

議員お尋ねの、移住者数、世代、家族構成についてですが、平成27年度において、市の移住施策を活用して移住した方は31世帯78人でありました。世代別では、30代が12世帯、40代が5世帯、50代が2世帯、60代以上が12世帯となっております。家族構成別では、単身世帯が10件、夫婦のみが9件、子育て世帯が12件となっております。

2点目「このランキング結果を活用して、宇佐市の人口増加・活性化に繋げていく計画があるか」についてですが、移住希望者にとってこのランキングは重要な判断材料となっております。

実際に移住相談や空き家バンク利用者が増加しており、この流れを活かすために、定住支援員設置による相談業務の充実や空き家の有効活用、起業支援や新規就農支援等による働く場所の確保、子育て支援や老後の安心対策の充実など、移住希望者の様々なニーズに応えられるような取り組みを行っているところであります。

今後も市の人口ビジョンに掲げる将来人口5万人を維持するために、移住・定住施策はもとより、ありとあらゆる政策を総動員し、人口減少に歯止めをかけたいと考えています。

以上で、私からの答弁を終わりますが、その他の質問については、教育長、担当部課長から答弁いたしますので、よろしく願いをいたします。

○議長(中島孝行君) 次に、4項目めの「学校給食について」を、教育長 近藤 一誠 君。

○教育長(近藤一誠君) 皆さん、こんにちは。教育長の近藤でございます。

16番 松久議員の一般質問にお答えします。

4項目め、「好き嫌いをなく給食を食べてもらうための工夫」についてですが、現在、本市では、文部科学省が定めた「学校給食衛生管理基準」に則り、2カ所の給食センターで給食調理を行い、安全で安心な給食の提供を行っております。

宇佐学校給食センターでは、宇佐地域の小・中学校及び幼稚園・宇佐支援学校の児童生徒約4,270名分を、また、南部学校給食センターでは、安心院・院内地域の小・中学校の児童生徒約780名分の調理をしております。

工夫については、成長期の子どもたちに積極的に食べてもらいたい緑黄色野菜などが嫌いな子どもが多いことから、食材に工夫を凝らすとともに付加価値を持たせたりしています。例えば、カレーの日に星形の人参をクラスに1個だけ投入する「ラッキースター給食」を実施していますが、この取り組みは好評で、「ラッキーさん」になると嫌いな人参も食べられるようになったという声を聞きます。また、食育体験を通して、食の大切さ、色々な食材についての知識を深めてもらう取り組みも行っています。例えば、グリーンピースが嫌いな子どもが、皮むき体験をすることで豆ごはんが食べられるようになったという声を聞いております。その他、献立名に工夫をすることで、嫌いな食材でも食べてもらおうと「秘密の竜田揚げ」と、あえて食材名の椎茸を伏せて提供したところ、椎茸嫌いな子どもが椎茸を食べることができたという報告もありました。

以上は特徴的な事例であります。他にも好き嫌いをなく美味しく食べてもらえるように、栄養教諭を中心として毎月の献立に様々な工夫を凝らすとともに、食の大切さや食材に興味を持ってもらえるようすべての学校に食の指導に出向いています。

なお、毎日の献立は、市のホームページにも写真付きで掲載をいたしております。

以上で、答弁を終わります。

○議長（中島孝行君）次に、1項目めの「交通整備・環境整備について」を、建設水道部長 原田 雅且 君。

○建設水道部長（原田雅且君）建設水道部長の原田でございます。

14番 井ノ口議員の一般質問にお答えします。

1項目め、「交通整備・環境整備について」の1点目「法鏡寺から四日市に行く道の現状把握と今後の整備計画」についてですが、本市では、平成24年に全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、平成24年8月に、市教育委員会、宇佐警察署、国土交通省大分河川国道事務所、県宇佐土木事務所、PTA代表、市土木課の関係機関が連携して通学路の緊急合同点検を実施し、通学路の安全確保に向けた「宇佐市通学路交通安全プログラム」を策定し、毎年見直しを行っております。現在、その改善計画に基づいて対策を行っているところです。

議員ご指摘の、法鏡寺から四日市に行く道につきましては、バス路線で大型車の通行もあり、通学時には注意が必要と認識しています。

そこで、横断歩道や路側帯の引き直しの計画がされていたところですが、昨年度の関係機関との合同点検において、新たに闇バス停からスーパードラッグコスモス四日市店までのグリーンベルト設置及び渚団地入口の横断歩道の引き直しについての改善計画が追加され、通学路の安全確保に向けた対応を図ることとしています。

また、その他の通学路関係につきましても合同安全点検を毎年実施しており、その結果を踏まえた安全対策に努めてまいります。

続きまして、2点目の「JR駅周辺の環境整備やバスの本数」についてですが、市内には6つの駅があり、そのうち特急電車が停まる駅は2つあります。その2つの駅について、第二次宇佐市総合計画では、中心市街地に近く最も乗降客数が多い柳ヶ浦駅を「市の玄関駅」、市内で最も観光客数の多い宇佐神宮に近い宇佐駅を「観光拠点駅」と定めています。

さらに、宇佐市都市計画マスタープランでは、柳ヶ浦駅については、「アクセスの強化・玄関駅にふさわしい周辺整備により、県北地区の交通結節点としての機能強化を図る」と定めており、宇佐駅については、「市街地との連携を強化するとともに、周辺観光地と連携し、広域的な観光ネットワークを形成する」と定めています。

それらに基づき、柳ヶ浦駅については、周辺の都市計画道路の整備に着手するとともに、駅前広場の整備、駅舎の改修、公共下水道の整備などの周辺整備を計画し、アクセスの強化、利便性の向上に努めているところです。宇佐駅については、当駅を発着とした市内循環バスの試験運行を行うとともに、民間により大分空港から県北地区を運行するリムジンバスや宇佐・国東半島の観光地を巡る定期観光バスの停留所になるなど、市街地や周辺観光地等との連携強化を図っています。

その他の4つの駅についても、通勤や通学などで利用されている方が多くいますので、交通事業者等と一体となってバスとの連携強化を図り、利便性の向上に努めてまいりたいと考えています。

以上で、答弁を終わります。

○議長（中島孝行君）次に、3項目目の「観光客の誘致について」を、経済部長 山本恵太 君。

○経済部長（山本恵太君）経済部長の山本でございます。

15番 早田議員の一般質問にお答えいたします。

3項目目、「観光客の誘致について」の1点目「宇佐市に来る観光客数の推移と外国人を含めた観光客の誘致への取組みは」についてですが、平成27年の主要10施設における観光入込客数は223万人で、4年前と比較すると3%の増であり、概ね横ばいの状態となっています。

外国人観光客の誘致につきましては、外国語を表記した観光案内板の整備、観光地のトイレや温泉施設の使い方を示したポスター等の作成を行っているところでございます。また、本市と縁があり、県も力を入れている台湾においても商談会や観光PRを行う予定でございます。このようなインバウンド対策を強化するため、本年度、外国語が堪能な地域おこし協力隊員の活用も行っています。

国内におきましては、東九州自動車道が全線開通したことから、福岡、宮崎、山口、広島などを中心に誘客キャンペーンを実施しています。また、宇佐グルメフェスタや宇佐ん味食べ歩きラリーなどにより、食観光による誘客促進も図っているところでございます。

次に、2点目「宇佐神宮や院内町の石橋群、安心院町のぶどう狩りなどの他にどのような観光名所があるのか、また、若者が是非訪れてみたいと思うような場所はあるか」についてでございますが、旧宇佐地域では、双葉の里、四日市門前町、平和資料館、和間海浜公園の潮干狩りなど、安心院地域では、アフリカンサファリ、家族旅行村「安心院」、安心院葡萄酒工房など、院内地域では、岳切溪谷、宇佐のマチュピチュ、道の駅いんないなど、数多くの観光名所がございます。

また、若者が是非訪れてみたいと思うような場所についてでございますが、近年注目を集めていますのが、宇佐神宮の樹齢800年といわれるご神木で、EXILEのメンバーであるUSA

さんやHKT48の指原莉乃さんがパワーを授かったことでも有名です。続いて、年間を通じて人気なのが、年間50万人以上の入場者数を誇るアフリカンサファリでございます。その他にも、素足で沢歩きが楽しめる岳切溪谷、マイナスイオンたっぷりの東椎屋の滝、三方向から眺められる福貴野の滝などが涼スポットとして人気です。

このように宇佐市には誇るべき多くの観光資源がございますので、是非、訪れていただき、地域を知ること、ふるさとへの愛着と誇りを身に付けていただけたらうれしく思います。

以上で、答弁を終わります。

○議長（中島孝行君）最後に、5項目めの「高齢者に対する避難・災害対策について」を、福祉保健部長 土居 秀徳 君。

○福祉保健部長（土居秀徳君）福祉保健部長の土居です。

16番 松久議員の一般質問にお答えします。

5項目め、「災害時の高齢者の災害対策は」についてでございますが、平成23年3月に発生しました東日本大震災の死亡者のうち、65歳以上の高齢者の死者数は全体の約6割、障がい者の死亡率は全体の約2倍に上るなど、多くの尊い命が犠牲になりました。この教訓を踏まえ、平成25年に災害対策基本法が改正され、高齢者や障がい者など、自ら避難することが困難な人を登録した避難行動要支援者名簿の作成が義務付けられました。

本市では、平成28年5月現在で1,784名が避難行動要支援者名簿に登録されております。この名簿情報は、市役所の関係各課はもちろん、消防本部や社会福祉協議会及び民生委員・児童委員などと情報共有することで災害発生時に役立てるようにしております。

避難訓練等につきましては、災害時要支援者支援実践活動を平成22年に佐田地区、平成24年には下敷田地区で開催し、ワークショップや模擬体験を行いました。さらに、平成27年1月には、県と県社会福祉協議会の主催により実施した、災害時避難行動計画作成研修を踏まえて、地域の特性や実情を考慮しつつ、避難行動要支援者個別避難計画の策定を各自治区ごとに進めているところです。

また、高齢者の見守り体制の構築のため、地域包括支援センターを中心とした高齢者安心ネットワークを組織し、認知症行方不明者の搜索模擬訓練を平成27年度から各地区で実施していますが、これらも災害時の安否情報の把握や支援体制の強化にも役立つものと思われま

す。災害時の対策としては、日頃から隣近所の方との声のかけ合いや助け合いが非常に大切だと言われております。特に避難行動要支援者の避難については、自治区内での助け合いが欠かせません。地域の若い世代を中心として、自治区内の避難行動要支援者と一緒に避難する体制を整えることが重要であります。

本市としましては、引き続き関係機関との連携を図り、災害時要支援者避難支援訓練の実施や避難行動要支援者の個別の避難計画の策定に努めてまいります。

以上で、答弁を終わります。

○議長（中島孝行君）以上で執行部の答弁は終わりましたが、再質問があれば許します。

17番 小野裕稀 君。

○17番（小野裕稀君）17番 小野裕稀です。

2項目め、1点目について再質問します。

先ほど市の移住施設を活用して移住してきた方は31世帯と言っていましたが、この中で特に

移住してきてほしい世代などがありますか。

○議長（中島孝行君）観光まちづくり課長。

○観光まちづくり課長（河野洋一君）観光まちづくり課長の河野です。

小野議員の再質問にお答えします。

市といたしましては、より多くの方が移住していただける、そのための色んな制度を設けておりますので、どの世代だからありがたいということはないんですけども、できることであれば、やはり、教育の面で子どもさんの数が増えるということ、そういったことを考えられれば、30代とか、40代の若い世代が入ってくれば、若い世代の方々と交わることで活気づくのではないかなというふうな考え方を持っているところでございます。

○議長（中島孝行君）15番 早田美希さん。

○15番（早田美希さん）15番 早田美希です。

3項目目の「観光客の誘致について」再質問します。

2点目の、東九州自動車道が全線開通したことから、福岡、宮崎、山口、広島などを中心に誘客キャンペーンを実施していますとおっしゃられましたが、誘客キャンペーンとは具体的にどのような活動ですか。

○議長（中島孝行君）観光まちづくり課長。

○観光まちづくり課長（河野洋一君）観光まちづくり課長 河野です。

再質問にお答えいたします。

観光誘客キャンペーンというのは、例えば、福岡や宮崎であるイベント、そういったものにブースを設けたり舞台で宇佐市のPRをして、是非、「かちあるまち宇佐」に来てくださいという呼び掛けをしたり、あとは「うさからくん」、ご存じかと思いますが、そういったグッズを販売して宇佐を知ってもらおう。また、宇佐ブランド認証品という、いま、宇佐で出来た商品、六次産品と言っておりますけども、そういった優秀なものがあるよと。ですから、是非、これを買ってくださいよっていうようなPRも併せてその現地に行っていくという、そういった内容がキャンペーン、誘客キャンペーン、是非、宇佐に来てくださいというふうなキャンペーンということになっております。

以上です。

○議長（中島孝行君）14番 井ノ口羽蘭さん。

○14番（井ノ口羽蘭さん）14番 井ノ口羽蘭です。

1項目目の……。私は、生徒会をしています。その時に準備などで帰りが遅くなる時があります。バスを利用する時に18時以降のバスがないのでとても困っています。本数を増やすという計画はありますか。

○議長（中島孝行君）企画財政課長。

○企画財政課長（江口弘和君）企画財政課長の江口でございます。

14番 井ノ口議員の再質問にお答えをいたします。

先ほど質問でお答えしたとおり、1月から2月にかけてまして市内循環バスの試験運行をやりました。今年も秋口ぐらいからやろうかということで計画をしております。その検証というのが、具体的に本当に利用者がいるのか、どうやったらのれるのかとか、いま、議員さんがおっしゃられるように、通勤、通学、通院、買い物、観光という、この五大ニーズをうまく組み合わせて利活

用してもらおうということで、いま、庁内で色々議論をしております。ただ、利便性の向上という部分で、夕方部分に増やしたいという部分も、どの時間帯が一番多いのかっていう部分でうまく作りこんでいきたいかなと思っています。

先ほど言ったように、アンケート調査等を行ったときに午前中のニーズが多いということで、午前中4便、午後2便という形で最初の実証運行はやったんですけども、色々人数等を検証しまして、また検討していきたいというふうに考えています。

貴重な意見をありがとうございました。

○議長（中島孝行君）まだ10分ありますよ、ご遠慮なくどうぞ。

14番 井ノ口羽蘭さん。

○14番（井ノ口羽蘭さん）十四番、井ノ口羽蘭です。

5項目目の「災害時の高齢者の災害対策」についてですが、災害時避難行動計画作成研修は、年、何回行われていますか。

○議長（中島孝行君）福祉課長。

○福祉課長（松吉 剛君）避難計画の……。もう一度お願いします。大変すみません。

○議長（中島孝行君）14番 井ノ口羽蘭さん。

○14番（井ノ口羽蘭さん）災害時避難行動計画作成研修は……。

（「あ、分かりました。大変すみません。」と発言するものあり）

○議長（中島孝行君）福祉課長。

○福祉課長（松吉 剛君）福祉課長の松吉です。

井ノ口議員の再質問にお答えします。

この災害時避難行動計画作成研修というのは、答弁でも言ったんですが、平成27年1月に県と大分県の社会福祉協議会が共催で開催をされて、それが一回なんですけど、今後、高齢者とか、障がい者とか避難が難しいと思われる方について、個別に、例えば、避難の支援者を定めたり、そういったことを計画するわけなんですけど、そういう必要性を皆さんに分かっていただくように、こういった説明会は随時開催していきたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（中島孝行君）14番 井ノ口羽蘭さん。

○14番（井ノ口羽蘭さん）以上で、宇佐産業科学高校の質問を終わります。

ありがとうございました。一同起立、礼。

○議長（中島孝行君）以上で、宇佐産業科学高校の高校生議員の一般質問を終結いたします。

○議長（中島孝行君）以上で、すべての市政一般に対する質問が終了いたしました。

ここで、副市長よりあいさつをお願いいたします。副市長 信國 和徳 君。

～ 副市長あいさつ ～

○副市長（信國和徳君）皆さん、こんにちは。副市長の信國でございます。

一言、ごあいさつを申し上げます。

高校生議員の皆さんには、大変お疲れ様でした。本日は、市内高校から17名の方々にご参加をいただきました。

質問では、人口減少社会に伴う諸問題、グローバル化や情報化への対応など、幅広い内容でなされましたが、短い時間の中で、質問の要旨を的確にまとめられて質問をされるとともに、厳しい再質問を述べるなど、大変堂々としており、心から感動いたしました。本日高校生議員からいただきました質問に対しましては、これからの市政に大いに参考にさせていただきたいと思っております。

高校生議員の皆さんには、本日の経験を契機に、市政や市議会に対する関心をなお一層高めていただければと思っております。そして、将来の宇佐市を担う皆さんが、日々、努力を重ねられ、各々の目指す分野において活躍をされ、そのことを通じて、宇佐市がより住みやすく、より魅力あるまちになっていくことも期待をしております。

結びになりましたが、本日の高校生議会の開催にあたりまして、ご尽力を賜りました中島市議会議長様をはじめ、市議会議員の皆様、そして、ご参加をいただきました高校生議員の皆さん、大変忙しい中、ご尽力を賜りました各高校の先生方をはじめ、関係者の皆さん、それから、長時間にわたり傍聴席から温かく見守っていただいた皆さんに深く感謝を申し上げ、閉会のあいさつといたします。

本日は、誠にありがとうございました。

○議長（中島孝行君）以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

高校生議員の皆様、長時間にわたりご苦勞様でした。本日は、高校生らしい柔軟な発想に基づいた様々な発言がございまして、私ども市議会議員としても、新鮮な感動を覚えるとともに、改めて、新たな視点から多くを学ぶべきと感じました。

どうか、数年後には、この中の何人かが実際にその席に座って、市民の声を直接ぶつけるような市議会議員になっていただくことを切に望むものでございます。本日の経験を通じて、市民として魅力ある宇佐市づくりや宇佐市の発展に寄与する意識をお持ちいただき、将来の宇佐市を担っていただくことを期待するとともに、皆様それぞれが輝かしい未来生活を送られることを祈念申し上げます。

ご来場の皆様には、宇佐市初の高校生議会にご協力いただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

それでは、平成28年5月宇佐市高校生議会を閉会いたします。

ご苦勞さまでございました。

（閉会 午後4時27分）

この会議録の内容が間違いないことを確認し、署名します。

平成28年5月20日

宇佐市議会議長 中島孝行

会議録署名議員

安心院高等学校 1番 谷口結愛

柳ヶ浦高等学校 7番 山下瑞稀

宇佐高等学校 13番 金田季子

宇佐産業科学高等学校 17番 小野裕稀